

重要

再生できるディスクの種類・・・ 120ページ

ディスクの操作について・・・ 120ページ

必ずお読みください

目次

はじめに

共通の基本操作

機能の紹介

間く

ラジオ

CD

MP3

マルチCD

見る

テレビ

DVD

ビデオCD

DVDプレーヤー

音の調節

DSP

設定

各種の設定

DVDの機能設定

その他の機能

付録

7.0型ワイドシステムTV/DVD-A/DVD-V/  
VCD/CD/チューナー・5.1ch対応・  
MP3対応・DSPメインユニット

# AVH-P9DVAⅡ

取扱説明書

目次 6ページ

carrozzeria

# 必ずお読みください

## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

## 警告

### [使用方法]

#### 運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にテレビやDVDなどを見ない



運転者がテレビやDVDなどを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

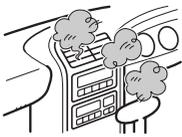
### [異常時の処置]

#### 故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## ⚠ 注意

### [使用方法]

モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

### 安全走行のために

本機はパーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやDVDの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)



**例：テレビを見ようとしたとき**

このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

### リアモニターについて

リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、**運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。**

### 携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に、はん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

### バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

## 説明書のご利用方法

### ■ 取付説明書

取り付けや接続を行うときにお読みください。機器の構成や、他の機器との接続について説明しています。

### ■ 取扱説明書 (本書)

本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、本機の使いかたを説明しています。

## 本書の見かた

### 表記 意味

#### ご注意

#### 注意マーク

操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。

#### メモ

#### メモマーク

操作するうえで注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明しています。

画面に表示されるタッチキーを表します。

例： **ESC** にタッチする

#### 【○○○】

本体のボタンを表します。

例：【V.ADJ】 ボタンを押す



リモコンのボタンを表します。

例： **BD/ESC** ボタンを押す

#### →斜体

参照していただきたいページ、または他の説明書を導きます。

#### ▶▶▶ ○○○ ▶▶▶

項目が複数のページにわたって説明されていることを表します。

#### メモ

- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 本機は、本体のボタン、画面のタッチキー、またはリモコンで操作できますが、本書では主にタッチキーでの操作を中心に説明しています。

# 目次

## 必ずお読みください ..... 2

安全のために必ずお守りください .....	2
安全上のご注意 .....	3
安全走行のために .....	4
バッテリー上がりを防ぐために .....	4
説明書のご利用方法 .....	5
本書の見かた .....	5

## はじめに ..... 10

ナビゲーションユニットと 組み合わせた場合 .....	10
地上デジタルテレビジョン放送について .....	10
ドルビーデジタル/DTS対応 .....	10
MP3再生対応 .....	11
CD TEXT対応 .....	11
50枚型マルチCDプレーヤーを ご使用になる場合のご注意 .....	11
本体・モニター .....	12
リモコン .....	14

## 共通の基本操作 ..... 18

電源のON/OFF .....	18
電源ON .....	18
電源OFF .....	18
情報プレートの見かた .....	19
ソースのON/OFF .....	20
ソースON .....	20
ソースOFF .....	22
デモモードについて .....	23
モニターの操作 .....	24
モニターの収納 .....	24
モニターの角度調節 .....	24
モニターを一時的に手前に倒す .....	25
ディスクの出し入れ .....	26
ディスクの入れかた .....	26
ディスクの取り出しかた .....	26
タッチキーの基本操作 .....	27
タッチキーを表示する .....	27
メニュー操作の基本 .....	28
音量を調節する .....	29

## 機能の紹介 ..... 30

ラジオ .....	30
基本的なラジオ画面の見かた .....	30
リモコンでの基本的な操作 .....	30
タッチキーでの基本的な操作 .....	31
CD .....	32
基本的なCD画面の見かた .....	32
リモコンでの基本的な操作 .....	32
タッチキーでの基本的な操作 .....	33
MP3 .....	34
基本的なMP3画面の見かた .....	34
リモコンでの基本的な操作 .....	34
タッチキーでの基本的な操作 .....	35
テレビ .....	36
基本的なテレビ画面の見かた .....	36
リモコンでの基本的な操作 .....	36
タッチキーでの基本的な操作 .....	37
DVDオーディオ .....	38
基本的なDVDオーディオ画面の 見かた .....	38
リモコンでの基本的な操作 .....	38
タッチキーでの基本的な操作 .....	39
DVDビデオ .....	40
基本的なDVDビデオ画面の見かた .....	40
リモコンでの基本的な操作 .....	40
タッチキーでの基本的な操作 .....	41
ビデオCD .....	42
基本的なビデオCD画面の見かた .....	42
リモコンでの基本的な操作 .....	42
タッチキーでの基本的な操作 .....	43
DSP (デジタルシグナル プロセッサー) .....	44
DSPメニュー (AUDIOメニュー) 画面の見かた .....	44
リモコンでの基本的な操作 .....	44

## ラジオを聞く ..... 45

ラジオ (TUNER) に切り換える .....	45
タッチキーを表示する .....	45
バンドを切り換える .....	45
放送局を選ぶ .....	45
プリセットチャンネルリストへ 登録する .....	46

いろいろな操作をする .....	46
FUNCTIONメニューを表示する .....	46
受信状態の良い放送局を 自動的に登録する (BSM) .....	47
放送局名を選ぶ (STATIONS NAME MEMO) .....	47

## CDを聞く ..... 48

内蔵プレーヤー (CD) に切り換える .....	48
タッチキーを表示する .....	48
再生を停止する .....	48
一時停止する .....	48
早戻し/早送りする .....	48
トラックを選択する (頭出し) .....	48

いろいろな操作をする .....	49
FUNCTIONメニューを表示する .....	49
リピート再生する (REPEAT) .....	49
ランダム再生する (RANDOM) .....	49
スキャン再生する (SCAN) .....	50
リストからトラック名で選んで 再生する (TRACK LIST) .....	50
タイトルを入力する (TITLE EDIT) .....	50
CD TEXTの情報を表示する .....	51

## MP3を聞く ..... 52

内蔵プレーヤー (MP3) に切り換える .....	52
タッチキーを表示する .....	52
MP3のタイトルを表示する .....	52
再生を停止する .....	53
一時停止する .....	53
早戻し/早送りする .....	53
トラックを選択する (頭出し) .....	53
フォルダーを切り換える .....	53

いろいろな操作をする .....	54
FUNCTIONメニューを表示する .....	54
リピート再生する (REPEAT) .....	54
ランダム再生する (RANDOM) .....	55
スキャン再生する (SCAN) .....	55
リストからファイル名で選んで再生 する (FOLDER&TRACK LIST) .....	56

## テレビを見る ..... 57

テレビ (TV) に切り換える .....	57
タッチキーを表示する .....	57
バンドを切り換える .....	57
チャンネルを選ぶ .....	57
プリセットチャンネルリストへ 登録する .....	58

いろいろな操作をする .....	58
FUNCTIONメニューを表示する .....	58
受信状態の良いチャンネルを 自動的に登録する (BSSM) .....	59
音声多重放送 (2カ国語放送) の音声 を切り換える (MULTIPLEX) .....	59

## DVDを見る ..... 60

内蔵プレーヤー (DVD) に切り換える .....	60
タッチキーを表示する .....	60
再生を停止する .....	60
一時停止する .....	61
コマ送り/スロー再生する .....	61
早戻し/早送りする .....	61
チャプター (トラック) を 選択する (頭出し) .....	61
DVDディスクのディスク メニューを操作する .....	62
タイトル (グループ) を 切り換える .....	62
静止画を切り換える (DVDオーディオのみ) .....	62
再生中に音声や言語を切り換える .....	63
再生中に字幕言語を切り換える .....	63
再生中にアングルを切り換える .....	63
見たい (聞きたい) 場所を指定して 再生する .....	64

いろいろな操作をする .....	65
FUNCTIONメニューを表示する .....	65
リピート再生する (REPEAT) .....	65
ランダム再生する (RANDOM) (DVDオーディオのみ) .....	66
スキャン再生する (SCAN) (DVDオーディオのみ) .....	66
ダイナミックレンジコントロール を使う (D.R.C) .....	67

**ビデオCDを見る ..... 68**

内蔵プレーヤー (Video CD) に切り換える .... 68  
 タッチキーを表示する ..... 68  
 PBCメニューを操作する ..... 69  
 再生を停止する ..... 69  
 一時停止する ..... 69  
 コマ送り/スロー再生する ..... 70  
 早戻し/早送りする ..... 70  
 トラックを選択する (頭出し) ..... 70  
 見たい場所を指定して再生する ..... 70  
 音声の出力方法を切り換える ..... 71  
**いろいろな操作をする ..... 72**  
 FUNCTIONメニューを表示する .... 72  
 リpeat再生する (REPEAT) ..... 72

**マルチCDプレーヤーを操作する .... 73**

マルチCD (M-CD) に切り換える .... 73  
 タッチキーを表示する ..... 73  
 ディスクを選ぶ ..... 73  
 早戻し/早送りする ..... 74  
 トラックを選択する (頭出し) ..... 74  
**いろいろな操作をする ..... 74**  
 FUNCTIONメニューを表示する .... 74  
 リpeat再生する (REPEAT) ..... 75  
 ランダム再生する (RANDOM) .... 75  
 再生を一時停止する (PAUSE) .... 75  
 スキャン再生する (SCAN) ..... 76  
 音を聞きやすくする  
 (COMPRESSION) ..... 76  
 リストからトラック名で選んで  
 再生する (TRACK LIST) ..... 77  
 タイトルを入力する  
 (TITLE EDIT) ..... 77  
 CD TEXTの情報を表示する ..... 78  
**ITSを使う ..... 78**  
 ITSリストを作る (ITS MEMORY) ..... 79  
 ITSリストから再生する (ITS PLAY) .... 79  
 ITSリストから1曲ずつ  
 曲の指定を解除する ..... 80  
 ITSリストからディスクごとに  
 曲の指定を解除する ..... 80

**DVDプレーヤーを操作する ..... 81**

DVDプレーヤー (S-DVD) に切り換える .... 81  
 タッチキーを表示する ..... 81  
 ディスクを選ぶ (マルチDVDの場合) .... 82  
 早戻し/早送りする ..... 82  
 トラック (チャプター) を選択  
 する (頭出し) ..... 82  
**いろいろな操作をする ..... 82**  
 FUNCTIONメニューを表示する .... 82  
 リpeat再生する (REPEAT) ..... 83  
 ランダム再生する (RANDOM) .... 83  
 再生を一時停止する (PAUSE) .... 84  
 スキャン再生する (SCAN) ..... 84  
 ITS再生について ..... 84  
 CDのタイトルを入力する ..... 84

**DSPで音を調節する ..... 85**

DSP調節のポイント ..... 85  
**AUDIOメニューを表示する ..... 85**  
 イコライザーを使う ..... 86  
 オートイコライザーをON/OFFする .... 87  
 リスニングポジションを選ぶ ..... 88  
 前後左右の音量バランスを調節する .... 88  
 各ソースの音量の違いをそろえる .... 89  
 オリジナルの音質で聞く ..... 89  
 ドルビープロロジックIIを使う ..... 89  
 接続したスピーカーを設定する ..... 91  
 クロスオーバー周波数を設定する .... 92  
 スピーカー出力レベルを調節する .... 93  
 テストトーンでスピーカー  
 レベルを調節する ..... 93  
 タイムアライメントを使う ..... 94  
**オートイコライジング&タイム  
 アライメント ..... 95**  
 オートイコライジング&タイム  
 アライメントを行う前に ..... 95  
 オートイコライジング&タイム  
 アライメント (Auto EQ&TA)  
 を行う ..... 96

**各種の設定 ..... 98**

<b>初期設定</b> .....	<b>98</b>
初期設定メニューを表示する .....	98
外部機器の音声を聞く (AUX) .....	98
音の歪みを補正する (DIGITAL ATT) ....	99
ミュート/アッテネートを設定する (TEL/GUIDE) .....	99
ディスクの自動再生を設定する (DVD AUTO PLAY) .....	100
夜間のサブディスプレイの明るさを 切り換える (SUB DISPLAY DIMMER) .....	100
オーディオの設定をリセットする (AUDIO RESET) .....	100
<b>基本設定</b> .....	<b>101</b>
基本設定メニューを表示する .....	101
AV入力を設定する (AV INPUT) ....	101
バックカメラの接続を設定する (BACK UP CAMERA) .....	102
時計を設定する (CLOCK ADJUST) ....	103
モニターの自動開閉を設定する (AUTO FLAP) .....	103
モニターのセットバックを設定する (FLAP SET BACK) .....	103
リアモニターの表示を設定する (REAR MODE) .....	104
リアモニターを使うとき .....	105

**DVDの機能設定 ..... 106**

<b>DVDセットアップメニューを 表示する</b> .....	<b>106</b>
字幕言語を設定する .....	106
音声言語を設定する .....	107
メニュー言語を設定する .....	108
アシスト字幕の表示/非表示を 設定する .....	108
マルチアングルマークの 表示/非表示を設定する .....	109
TVアスペクトを設定する .....	109
視聴制限を設定する (パレンタルロック) .....	110
ボーナスグループを再生する .....	111

**その他の機能 ..... 112**

瞬時に音量を小さくする (ATT) ....	112
交通情報を聞く (TI) .....	112
画面背景を設定する .....	112
ワイド画面の拡大方法を切り換える ....	113
<b>画質調整</b> .....	<b>114</b>
モニターのまぶしさを抑える .....	114
リモコンコードの設定 .....	115
本機のリセット .....	116
コンディションメモリー .....	116
<b>エクスターナルユニットの操作</b> ....	<b>117</b>
基本操作 .....	117
操作例 .....	118
<b>ナビゲーションユニットを 接続する際のご注意</b> .....	<b>119</b>
ナビゲーションユニットの 画面設定を切り換える .....	119

**付録 ..... 120**

<b>再生できるディスクの種類</b> .....	<b>120</b>
DVDに表示されている マークの意味 .....	121
著作権について .....	121
<b>MP3について</b> .....	<b>122</b>
フォルダーとMP3ファイルについて ....	122
MP3とは? .....	123
再生できるMP3ファイルについて ....	123
<b>使用上の注意</b> .....	<b>123</b>
モニターの正しい使いかた .....	124
言語コード表 .....	127
用語解説 .....	128
故障かな?と思ったら .....	131
こんなメッセージが表示されたら ....	137
<b>保証書とアフターサービス</b> .....	<b>139</b>
仕様 .....	140
索引 .....	142

# はじめに

## ナビゲーションユニットと組み合わせた場合

### 組み合わせ可能なナビゲーションについて

本機は、30ピンRGB出力付きのHDDナビゲーションオートサーバーのみ組み合わせることができます。ただし、以下の制限事項があります。

- 本機からナビゲーションユニットのミュージックサーバーへは録音できません。
- 本機には、ピクチャーサイドピクチャー（P side P）、ピクチャーインピクチャー（P in P）機能はありません。
- 本機は、ナビゲーションユニットの音声認識による「AV操作」には対応していません。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、本機の画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。
- 別売の30ピンRGB延長ケーブル（「CD-RGB130E」など）を使用して、本機とナビゲーションユニットを接続している場合、画面設定を切り換えてください。（→P119）

### ■ リモコンスイッチの設定

ナビゲーションユニット（「AVIC-H990」など）のリモコンのスイッチ1～4を正しく切り換えてください。（→『ナビゲーションユニットの説明書』）

- 本機をナビゲーションユニットのリモコンで操作する場合、操作モード切り替えスイッチを「AUDIO」に設定してお使いください。（→『ナビゲーションユニットの説明書』）

## 地上デジタルテレビジョン放送について

本機では、地上デジタルテレビジョン放送は受信できません。

- 地上デジタルテレビジョン放送については、別紙の『地上デジタルテレビジョン放送について』をご覧ください。

## ドルビーデジタル／DTS対応

本機では、5.1チャンネルで収録された映画／音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- 「DTS」および「DTS Digital Surround」は、Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

## MP3再生対応

MP3ファイルが記録されたCD-R／CD-RW／CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（→P122、P130）

### MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配信システムなど。

## CD TEXT対応

CD TEXTの再生に対応しています。

### CD TEXTとは

CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDはCD TEXTディスクです。下記マークの付いていないCD TEXTディスクもあります。

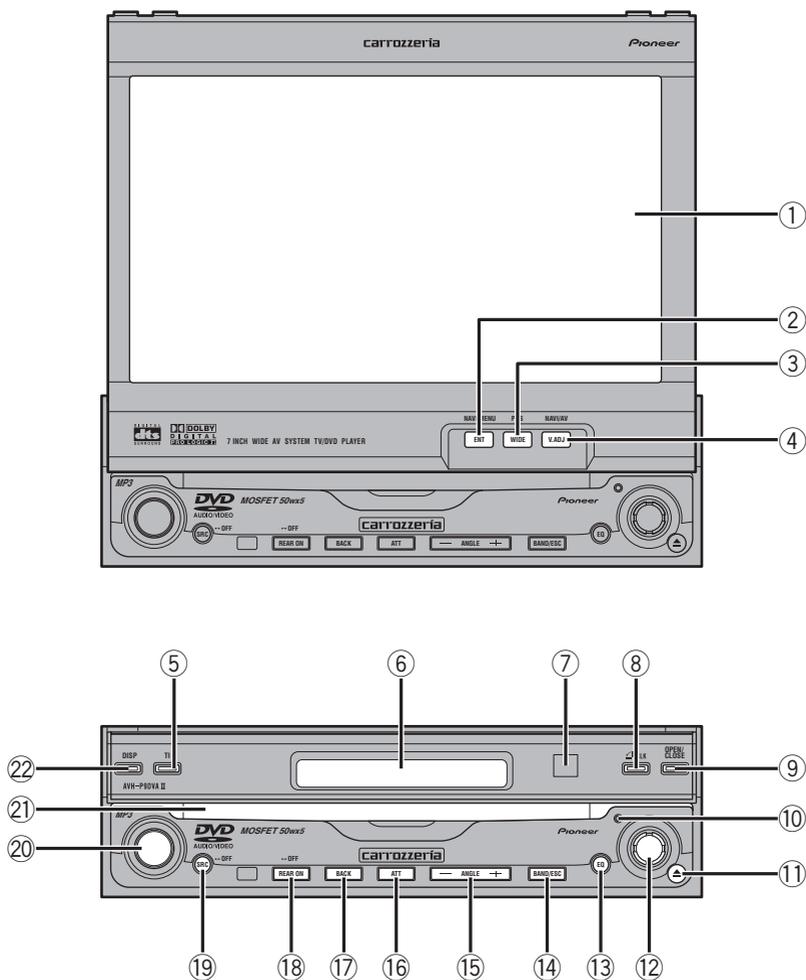


## 50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、タイトルリストモードには切り換わりません。

## 本体・モニター

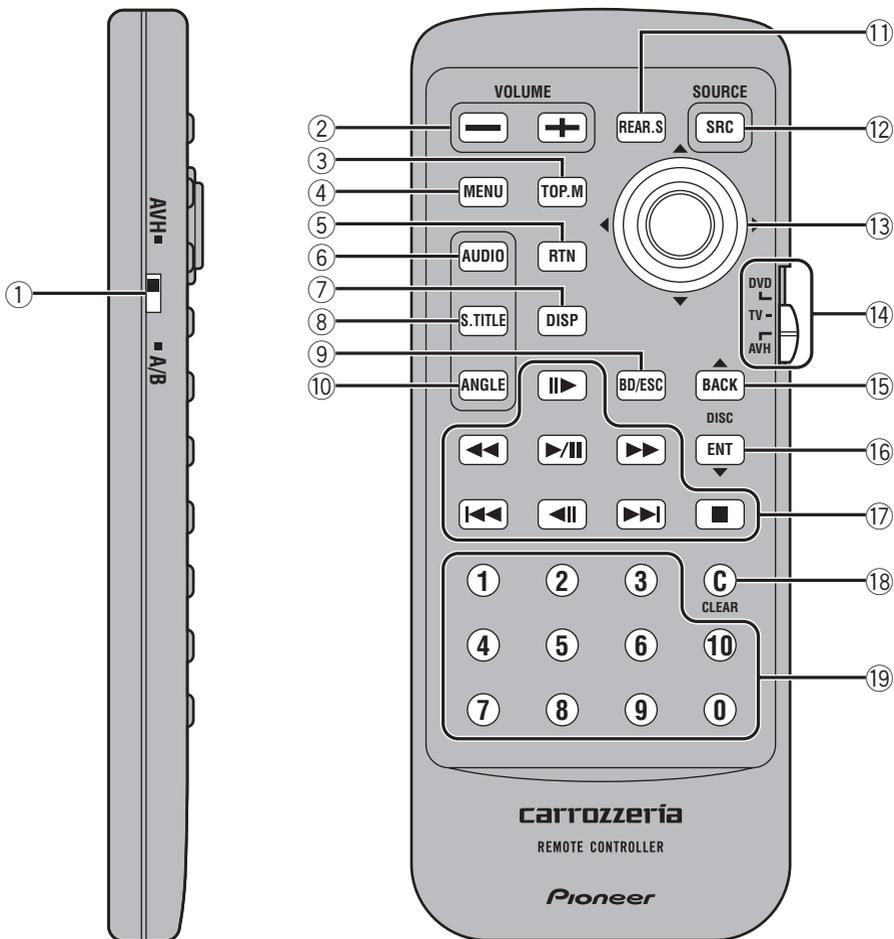
### ■各部の名称



- ① **画面**  
7インチのワイド液晶画面です。
- ② **ENTボタン (→P112)**  
エンタテインメント表示を切り換えます。
- ③ **WIDEボタン (→P113)**  
ワイド画面の拡大方法を切り換えます。
- ④ **V.ADJボタン (→P114)**  
長く(約2秒)押しすと、画質調整メニューに変わります。  
ナビゲーションシステムを接続している場合、ナビゲーション画面とソース画面を切り換えます。  
・ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステムの説明書をご覧ください。
- ⑤ **TIボタン (→P112)**  
交通情報を受信します。
- ⑥ **サブディスプレイ**  
モニターを収納した状態で、ソースの種類、ソース情報、時刻などを表示します。
- ⑦ **外光センサー (→P114)**  
周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動調整するためのセンサーです。
- ⑧ **一時可倒ボタン (→P25)**  
モニターを一時的に水平にします。
- ⑨ **OPEN/CLOSEボタン (→P24)**  
モニターを収納したり、立ち上げたりします。
- ⑩ **リセットボタン (→P116)**  
初期状態に戻します。
- ⑪ **イジェクトボタン (→P26)**  
ディスクを取り出します。
- ⑫ **ジョイスティック**  
上下左右に操作したり、中心を押すことでさまざまな機能进行操作できます。
- ⑬ **EQボタン (→P86)**  
イコライザーを切り換えます。
- ⑭ **BAND/ESCボタン**  
ラジオやテレビのバンドを切り換えます。  
また、メニュー表示中は、メニュー画面を閉じ、ソース画面に戻ることができます。
- ⑮ **ANGLEボタン (→P24)**  
モニターの角度を調整します。
- ⑯ **ATTボタン (→P112)**  
音量を一時的に下げます。  
・ソースがOFFのときに長く(約2秒)押しすと、デモモードをON/OFFします。
- ⑰ **BACKボタン**  
一つ前の画面に戻ります。
- ⑱ **REAR ONボタン (→P105)**  
リアモニターの映像を切り換えます。
- ⑲ **ソース (SRC) ボタン (→P21、P22)**  
ソースを切り換えます。
- ⑳ **VOLUME (→P29)**  
音量(ボリューム)を調節します。
- ㉑ **ディスク挿入口 (→P26)**  
ディスクを挿入します。
- ㉒ **DISPボタン (→P19)**  
画面表示を切り換えます。

# リモコン

## ■各部の名称



- ① **リモコンコード切り換えスイッチ (→P115)**  
リモコンコードを切り換えます。
- ② **VOLUME (  /  ) ボタン (→P29)**  
音量 (ボリューム) を調節します。
- ③ **TOP.M ボタン**  
DVDの最上位メニューを表示します。
- ④ **MENU ボタン**  
DVDのディスクメニューを表示します。
- ⑤ **RTN ボタン**  
ビデオCDのPBC再生中に、PBCメニューを表示します。
- ⑥ **AUDIO ボタン**  
DVDの音声言語を切り換えます。
- ⑦ **DISP ボタン**  
画面表示を切り換えます。
- ⑧ **S.TITLE ボタン**  
DVDの字幕言語を切り換えます。
- ⑨ **BD/ESC ボタン**  
ラジオやテレビのバンドを切り換えます。また、メニュー表示中は、メニュー画面を閉じ、ソース画面に戻ることができます。
- ⑩ **ANGLE ボタン**  
DVDのアングルを切り換えます。
- ⑪ **REAR.S ボタン (→P81、P105)**  
リアモニターの映像を切り換えます。
- ⑫ **SRC ボタン (→P21、P22)**  
ソースを切り換えます。
- ⑬ **ジョイスティック (  )**  
上下左右に操作したり、中心を押すことでさまざまな機能を操作できます。
- ⑭ **操作モード切り換えスイッチ (→P17)**  
リモコンの操作モードを切り換えます
- ⑮ **BACK ボタン**  
一つ前の画面に戻ります。
- ⑯ **ENT ボタン (→P112)**  
エンタテインメント表示を切り換えます。
- ⑰ **ディスク操作ボタン**  
各種ディスクの再生、停止、早送りなどの操作をします。
- ⑱ **クリア (  ) ボタン**  
入力した数字を取り消します。
- ⑲ **数字ボタン**  
ラジオ、テレビのプリセットチャンネルや、ディスクのトラック番号などを直接指定します。

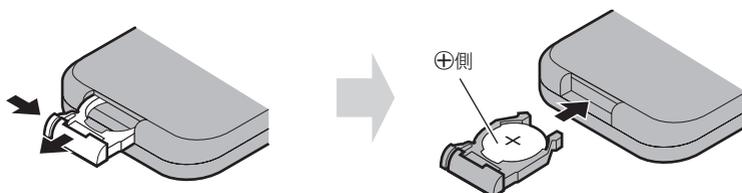
## ■ リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにしてセットします。

- はじめてお使いになるときは、電池ホルダー一部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。

### メモ

- リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

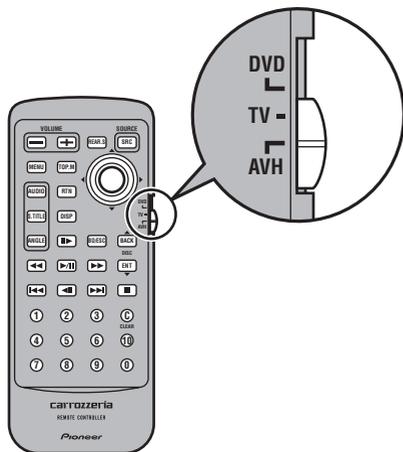


## リモコン取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

## ■ リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVDモード、TVモード、AVHモード（通常操作位置）の3つの操作モードがあります。



### DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するとき
- DVDオーディオの静止画を切り換えるとき
- ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき
- DVDのグループやタイトル、ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定するとき

### TVモード：

リアモニター接続時に、フロントモニターから独立して、リアモニターでTVソースを操作するときに使います。チャンネル操作をジョイスティックで行います。

### AVHモード：

リモコンで、各ソースを操作するときに使います。通常は、このモードでお使いください。

## メモ

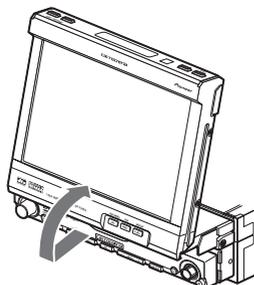
- DVDモードのときは、**DISP** ボタン、**ENT** ボタン、**BACK** ボタンは使えません。
- TVモードのときは、ジョイスティック、**SRC** ボタン、VOLUME (**−** / **+**) ボタンだけが使えます。

# 共通の基本操作

## 電源のON/OFF

### 電源ON

エンジンスイッチをACCまたはONにすると、本機の電源がONになり、モニターが自動的に立ち上がります。



#### メモ

- 基本設定の「AUTO FLAP」(→P103)を「MANUAL」に設定していると、モニターは自動で立ち上がりません。【OPEN/CLOSE】ボタンを押して、立ち上げてください。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。

### 電源OFF

エンジンスイッチをOFFにすると、本機の電源がOFFになります。モニターは、自動的に収納されます。

#### メモ

- 基本設定の「AUTO FLAP」(→P103)を「MANUAL」に設定していると、モニターは自動で収納されません。【OPEN/CLOSE】ボタンを押して、モニターを収納してから、エンジンスイッチをOFFにしてください。

## 情報プレートの見かた

電源を入れたときや、ソースを切り換えたとき（→P20）には、画面の上部に情報プレートが表示されます。



情報プレートの左端には現在選択しているソースのアイコンが表示されます。また、ソースアイコンの右側には、選択したソースに応じて、再生時間やチャンネルなどのさまざまな情報が表示されます。表示される内容のうち、タイトル切り換えができるものや、一度に表示しきれずスクロールして表示させることができるものは、【DISP】ボタン、**[DISP]** ボタンを押して操作します。（詳しくは、各ソースの説明をご覧ください。）

テレビやDVD、ビデオCDなどの映像ソースでは、情報プレートは、約8秒後に自動的に消えます。情報プレートを表示したいときは、【DISP】ボタン、**[DISP]** ボタンを押してください。

## ソースのON/OFF

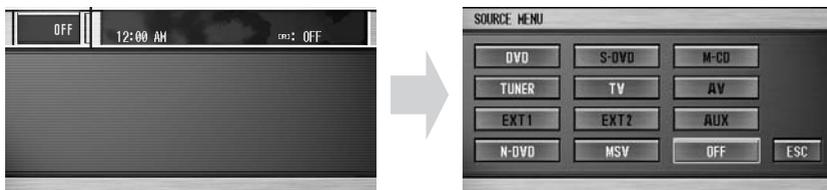
### ソースON

エンジンスイッチをONにすると、前回使用していたソースがONになります。前回ソースOFFで、エンジンスイッチをOFFにした場合は、再びエンジンスイッチをONにしたとき、ソースはOFFのままとなります。ソースをONにするには、以下の方法があります。

#### ■ ソースメニューで、ソースをONにする／ソースを選ぶ

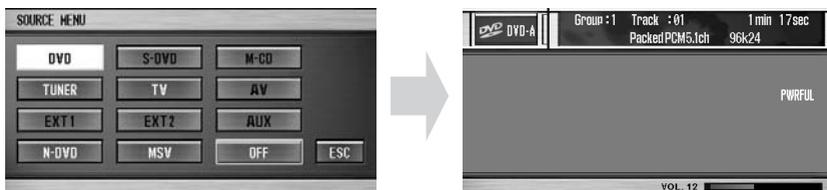
##### 1 ソースアイコンにタッチする

ソースメニューが表示されます。



##### 2 ソースを選んでタッチする

選んだソースがONになります。



#### メモ

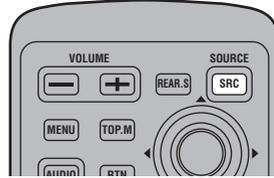
- ・内蔵プレーヤーにディスクを挿入すると、挿入されたディスクを自動判別して、内蔵プレーヤーがディスクに対応したソースになります。
- ・初期設定の「DVD AUTO PLAY」(→P100)を「OFF」に設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーには切り換わりません。
- ・**DVD**は内蔵プレーヤーのタッチキーで、内蔵プレーヤーでDVD、CD、MP3、ビデオCDのディスクを再生するときに選びます。例えばCDを再生中に、ソースをテレビに切り換えた場合、ソースをCDに戻すには、ディスクの種類にかかわらず、**DVD**にタッチすることで、ソースがCDになります。

#### 「AVIC-H900」を組み合わせている場合

ナビゲーションユニットのソース(「N-DVD」、「MSV」)を選ぶと、ナビゲーションユニットのタッチキー表示に切り換わります。ナビゲーションユニットのソース画面を表示中は、画面にタッチしても本機のソースメニューを呼び出すことはできません。他のソースに切り換えるには、【ソース (SRC)】ボタン、または**src**ボタンを押してください。

■【ソース (SRC)】 ボタン、SRC ボタンで、ソースをONにする／ソースを選ぶ

1 【ソース (SRC)】 ボタン、SRC ボタンを押す



ボタンを押すたびに、ソースが以下のように切り換わります。

ラジオ (FM/AM) → テレビ → AV (ビデオ) → 内蔵プレーヤー → マルチDVD/1枚型 DVD (別売) → マルチCD (別売) → EXT1\*<sup>1</sup> (エクスターナルユニット1) → EXT2\*<sup>1</sup> (エクスターナルユニット2) → AUX (外部機器) → N-DVD\*<sup>2</sup> (ナビゲーションユニットのプレーヤー) → MSV\*<sup>2</sup> (ナビゲーションユニットのミュージックサーバー)

\*1 エクスターナルユニット接続時のみ切り換わります。

\*2 ナビゲーションユニット接続時のみ切り換わります。

メモ

- DVDやCDがセットされていないときは、内蔵プレーヤーには切り換わりません。
- 接続していないソースには切り換わりません。
- AVの設定を「VIDEO」にしないと、AVには切り換わりません。(『AV入力を設定する (AV INPUT)』(→P101))
- AUX (外部機器)の設定をONにしないと、AUXには切り換わりません。(『外部機器の音声を聞く (AUX)』(→P98))
- 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- エクスターナルユニット (EXT1、EXT2) とは、本機がソースとして対応していないバイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができますが、EXT1、EXT2のどちらに切り換えても“EXT”が表示されます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、EXT1、EXT2が自動的に設定されます。
- “N-DVD”とは、ナビゲーションユニットのDVDソースのことで、“MSV”とは、ナビゲーションユニットのミュージックサーバーソースのことで、接続したナビゲーションユニットにそれぞれのソースがある場合に、切り換えることができます。

## ソースOFF

ソースをOFFにするには、以下の方法があります。

### ■ ソースメニューで、ソースをOFFにする

#### 1 ソースアイコンにタッチする

ソースメニューが表示されます。



#### 2 OFF にタッチする

ソースがOFFになります。



### ■ 【ソース (SRC)】 ボタン、**[SRC]** ボタンで、ソースをOFFにする

#### 1 【ソース (SRC)】 ボタン、**[SRC]** ボタンを長く (約1秒) 押す

ソースがOFFになります。



#### メモ

- ・モニターは立ち上がったまま、情報プレートに“OFF”が表示されます。
- ・ソースをOFFにしても、本機の電源はOFFにはなりません。

## デモモードについて

デモモードは、本機がソースOFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示する機能です。デモを解除するには、ソースOFFのときに、【ATT】ボタンを長く（約2秒）押します。もう一度長く（約2秒）押すと、デモが始まります。車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

### ご注意

- ・赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、デモが表示され、バッテリー上がりの原因となります。

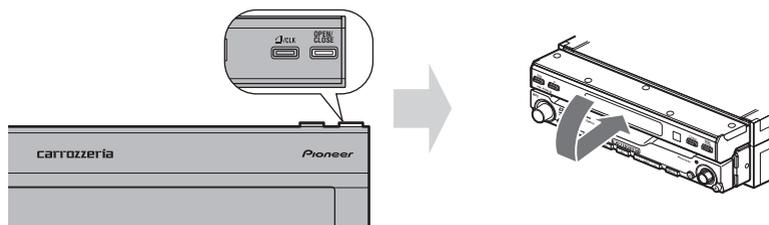
## モニターの操作

### モニターの収納

【OPEN/CLOSE】ボタンを押すと、モニターを収納できます。

#### ご注意

- モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、【OPEN/CLOSE】ボタンを押して必ず収納してください。（そのまま放置しないでください。故障することがあります。）

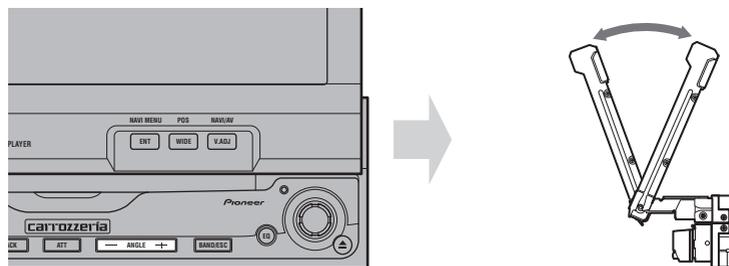


### モニターの角度調節

車外からの光が画面に反射しているときなどは、【ANGLE】ボタンを押して、見やすくなるようにモニターの角度を調節できます。

#### ご注意

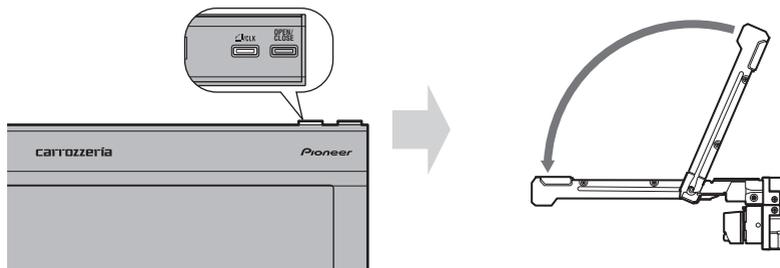
- 角度調節は、手で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。



## モニターを一時的に手前に倒す

モニターの背後にあるスイッチを操作したいときなどは、【一時可倒】ボタンを押すと、モニターを一時的に手前に倒すことができます。

ボタンを押すとモニターが一時的に手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。(約3秒前になると、“ピッピッピ”と鳴り、カウントダウンが始まります。)



### メモ

- モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。
  - エンジンスイッチをON（またはACC）にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。
  - 自動開閉機能を、OFFにすることもできます。(→P103)
- 【OPEN/CLOSE】ボタンを押してモニターを収納してから、車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON（またはACC）にしても、モニターは立ち上がりません。【OPEN/CLOSE】ボタンを押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、【ANGLE】ボタンの（-）側を押して、モニターを手前に調節してください。
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。(→P103)
- モニターの角度を調節すると、次回から調節した角度でモニターが立ち上がります。

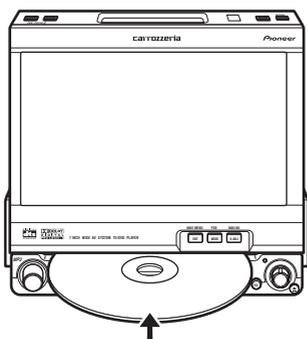
## ディスクの出し入れ

### ディスクの入れかた

タイトル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。挿入されたディスクの種類を自動判別して、再生が始まります。

#### ご注意

- 8cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

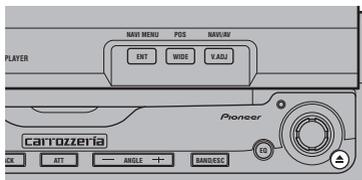


#### メモ

- 初期設定の「DVD AUTO PLAY」(→P100)を「OFF」に設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーには切り換わりません。ソースを内蔵プレーヤーに切り換えてください。(→P20)

### ディスクの取り出しかた

【イジェクト】ボタンを押すと、ディスクが出てきます。



#### メモ

- 取り出したディスクは、ケース等に入れて保管してください。

## タッチキーの基本操作

### タッチキーを表示する

#### 1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。

表示されるタッチキーは、選んでいるソースやモードによって異なります。

(例：CDを再生している場合)



#### 2 操作したい機能のタッチキーにタッチする

例：▶|| にタッチすると、ディスクを再生（または一時停止）します。

- 選んだソースによっては ▶ が表示されます。▶ にタッチすると、次のページのタッチキー表示に切り換えることができます。

#### 3 操作が終わったら、ESC にタッチする

タッチキーが画面から消えます。



#### メモ

- 約30秒間操作をしなかった場合、タッチキーは自動的に消えます。

## メニュー操作の基本

各ソースのさまざまな操作や設定は、メインメニューから行います。

### 1 **A.MENU**にタッチする

メインメニューが表示されます。

- ソース画面のときに、ジョイスティックの中心を押すことでも、メインメニューを表示できます。

[ソースON時]



[ソースOFF時]



### 2 操作したいメニューのタッチキーにタッチする

タッチしたメニューが表示されます。

**FUNCTION** ソースごとに割り当てられたFUNCTIONメニューが表示されます。

**AUDIO** 音色や音場のきめ細かな設定を行うAUDIOメニューが表示されます。

**SETUP** 基本設定メニューが表示されます。

**INITIAL** 初期設定メニューが表示されます。

### 3 操作が終わったら、**ESC**にタッチする

ソース画面に戻ります。



#### メモ

- **[BAND/ESC]** ボタン、**[BD/ESC]** ボタンを押しても、ソース画面に戻ります。
- **[BACK]** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面（1つ上の階層）に戻ります。
- **[NEXT]** は、次ページにメニュー項目がある場合に表示され、タッチすると次ページに切り換わります。
- **[PREV]** は、タッチすると前のページに戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## 音量を調節する

### ■ 本体での操作

#### 1 [VOLUME] を回す

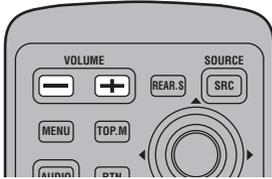
0～40の範囲で調節できます。



### ■ リモコンでの操作

#### 1 VOLUME (− / +) ボタンを押す

0～40の範囲で調節できます。

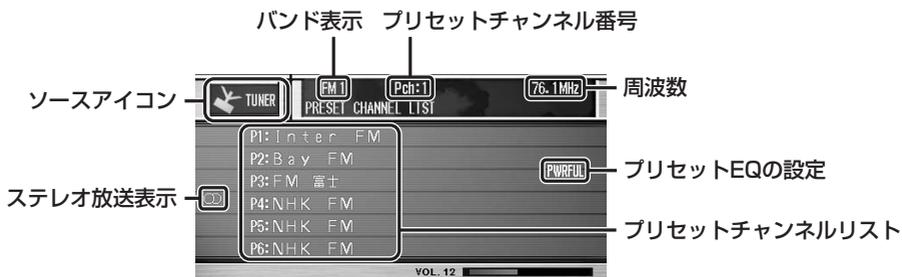


# 機能の紹介

## ラジオ

### 基本的なラジオ画面の見かた

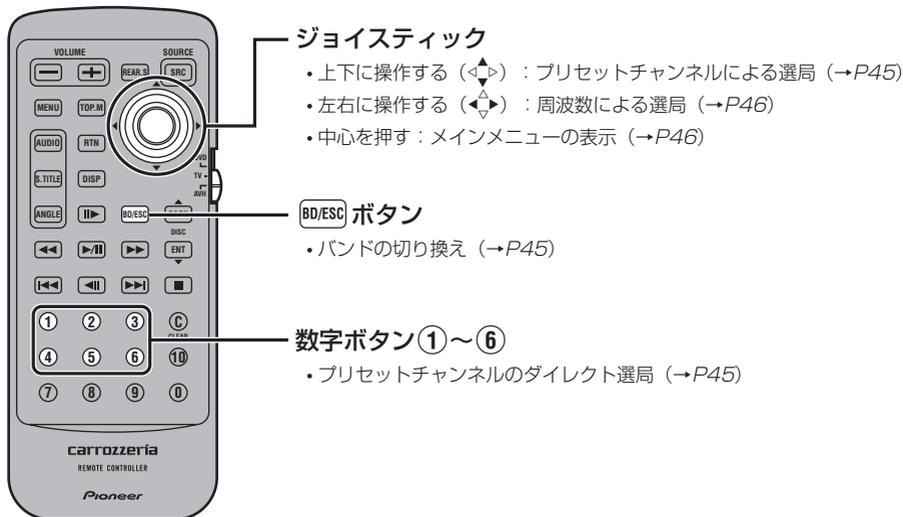
ラジオを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるラジオの操作は、AVHモードで行います。

ラジオの基本操作には、以下のボタンを使用します。



## タッチキーでの基本的な操作

ラジオの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー



**BAND** : バンドの切り換え (→P45)

◀、▶ : 周波数による選局 (→P46)

▲、▼ : プリセットチャンネルによる選局 (→P45)

**A.MENU** : メインメニューの表示 (→P46)

**P1: (放送局名) ~ P6: (放送局名)** : プリセットチャンネルのダイレクト選局 (→P45)

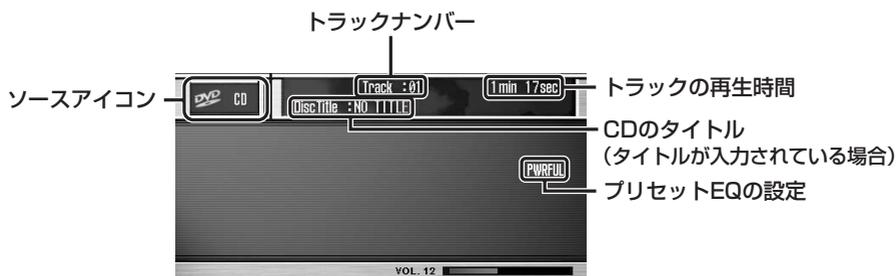
**DISP** : プリセットチャンネルリストの表示/非表示

**ESC** : タッチキーを画面から消す

## CD

### 基本的なCD画面の見かた

CDを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるCDの操作は、AVHモードで行います。

CDの基本操作には、以下のボタンを使用します。



#### ジョイスティック

- 左右に操作する (◀▶) : トラックの選択 (曲の頭出し) (→P48)
- 左右に長く操作する (◀▶) : 操作している間、早戻し/早送り (→P48)
- 中心を押す : メインメニューの表示 (→P49)

#### 操作ボタン類

- ▶|| : 再生、一時停止 (→P48)
- ◀▶ / ▶▶ : トラックの選択 (曲の頭出し) (→P48)
- ◀◀ / ▶▶ : 押し続けている間、早戻し/早送り (→P48)
- ■ : 再生の停止 (→P48)

## タッチキーでの基本的な操作

CDの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー（1ページ目）



- : 再生の停止 (→P48)
- ▶/|| : 再生、一時停止 (→P48)
- ◀▶ : トラックの選択 (曲の頭出し) (→P48)
- A.MENU** : メインメニューの表示 (→P49)
- : タッチキーの切り換え
- ESC** : タッチキーを画面から消す

#### メモ

- CD TEXT再生時は、**DISP**が表示されます。このタッチキーでは、タイトル表示の切り換えができます。(→P51)

### タッチキー（2ページ目）



- ◀▶ : タッチしている間、早戻し/早送り (→P48)
- : タッチキーの切り換え
- ESC** : タッチキーを画面から消す

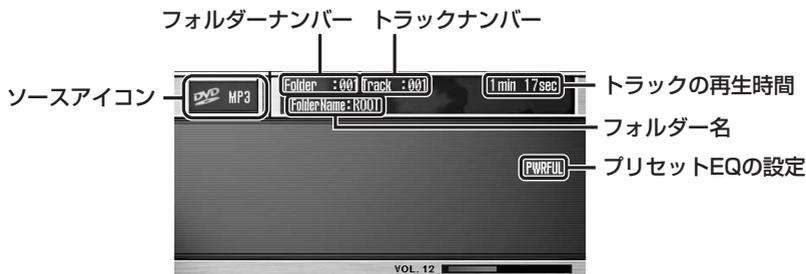
#### メモ

- CD TEXT再生時は、**DISP**が表示されます。このタッチキーでは、タイトル表示の切り換えができます。(→P51)
- CDDA/MP3混在ディスク再生時は、**DA<>MP3**が表示されます。このタッチキーでは、再生パートの切り換えができます。(→P52)

## MP3

### 基本的なMP3画面の見かた

MP3を聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるMP3の操作は、AVHモードで行います。

MP3の基本操作には、以下のボタンを使用します。



#### ジョイスティック

- ・左右に操作する (◀▶) : トラックの選択 (曲の頭出し) (→P53)
- ・左右に長く操作する (◀▶) : 操作している間、早戻し/早送り (→P53)
- ・上下に操作する (◀▶) : フォルダーの選択 (→P53)
- ・中心を押す : メインメニューの表示 (→P54)

#### BD/ESC ボタン

- ・再生パートの切り換え (CD-DA/MP3混在ディスク再生時) (→P52)

#### 操作ボタン類

- ・▶|| : 再生、一時停止 (→P53)
- ・◀▶ / ▶▶ : トラックの選択 (曲の頭出し) (→P53)
- ・◀▶ / ▶▶ : 押している間、早戻し/早送り (→P53)
- ・■ : 再生の停止 (→P53)

## タッチキーでの基本的な操作

MP3の基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー（1ページ目）



- : 再生の停止 (→P53)
- ▶/|| : 再生、一時停止 (→P53)
- ◀◀、▶▶ : トラックの選択 (曲の頭出し) (→P53)
- A.MENU** : メインメニューの表示 (→P54)
- DISP** : タイトル表示の切り換え (→P52)
- : タッチキーの切り換え
- ESC** : タッチキーを画面から消す

### タッチキー（2ページ目）



- ◀◀、▶▶ : タッチしている間、早戻し/早送り (→P53)
- ▲、▼ : フォルダーの選択 (→P53)
- DISP** : タイトル表示の切り換え (→P52)
- : タッチキーの切り換え
- ESC** : タッチキーを画面から消す

### メモ

- CDDA/MP3混在ディスク再生時は、**DA<>MP3**が表示されます。このタッチキーでは、再生パートの切り換えができます。(→P52)

## テレビ

### 基本的なテレビ画面の見かた

テレビを見るときには、以下のような情報が表示されます。  
 情報プレートは、【DISP】ボタン、**[DISP]**ボタンを押すと表示されます。

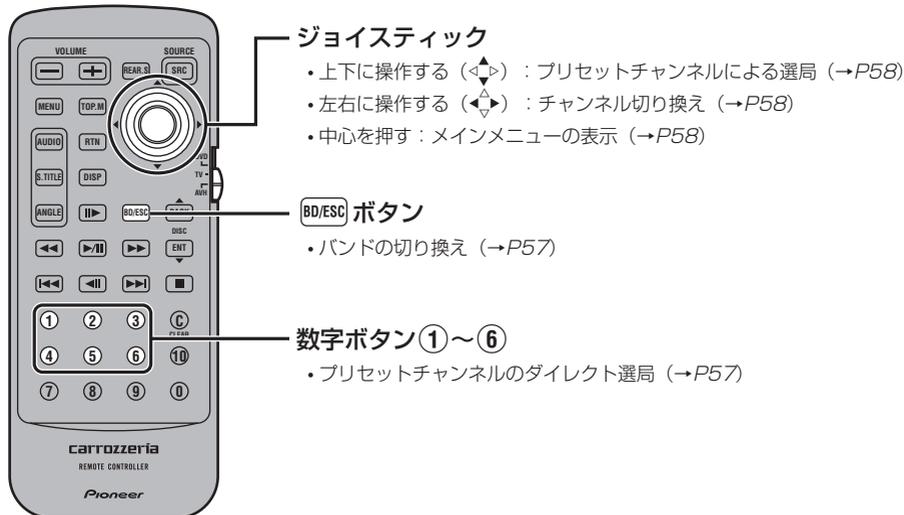


#### メモ

- ・本機では、地上デジタルテレビジョン放送は受信できません。
- ・地上デジタルテレビジョン放送については、別紙の『地上デジタルテレビジョン放送について』をご覧ください。

### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるテレビの操作は、AVHモードで行います。  
 テレビの基本操作には、以下のボタンを使用します。



## タッチキーでの基本的な操作

テレビの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー



**BAND** : バンドの切り換え (→P57)

◀、▶ : チャンネル切り換え (→P58)

▲、▼ : プリセットチャンネルによる選局 (→P58)

**A.MENU** : メインメニューの表示 (→P58)

**P 1:** ~ **P12:** : プリセットチャンネルのダイレクト選局 (→P57)

**NEXT**、**PREV** : プリセットチャンネルリストの切り換え

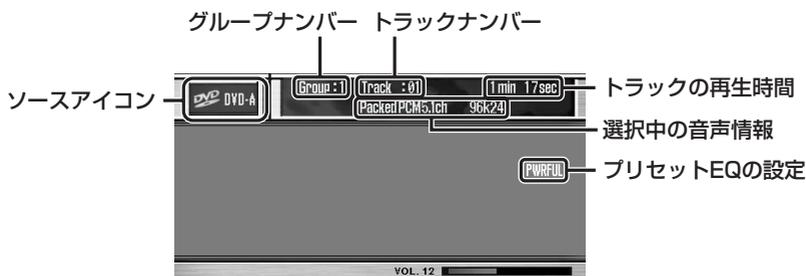
**DISP** : プリセットチャンネルリストの表示/非表示

**ESC** : タッチキーを画面から消す

## DVDオーディオ

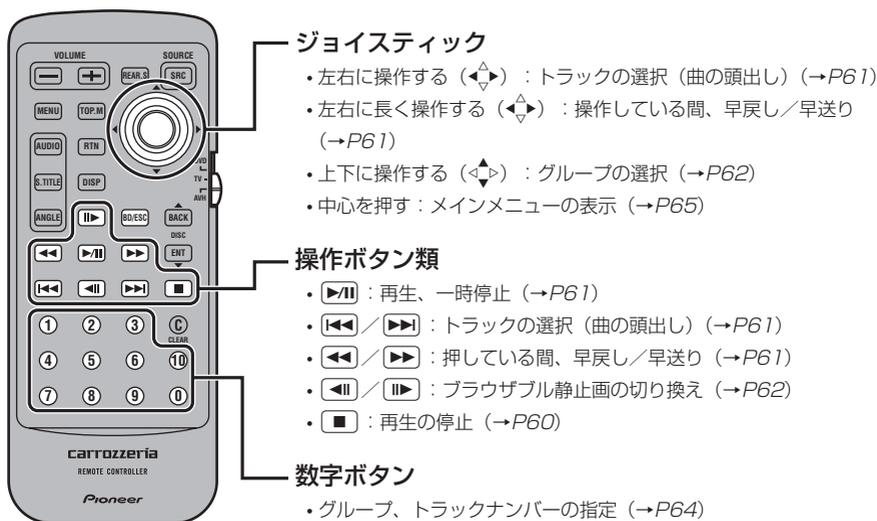
### 基本的なDVDオーディオ画面の見かた

DVDオーディオを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。情報プレートは、【DISP】ボタン、**[DISP]**ボタンを押すと表示されます。



### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるDVDオーディオの操作は、AVHモードで行います。DVDオーディオの基本操作には、以下のボタンを使用します。



#### メモ

- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するときや、ダイレクトサーチを数字ボタンで操作するときは、リモコンの操作モードをDVDモードにします。

## タッチキーでの基本的な操作

DVDオーディオの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー（1ページ目）



**TOP.M** : DVDの最上位メニューの表示  
(→P62)

**MENU** : DVDのディスクメニューの表示  
(→P62)

**■** : 再生の停止 (→P60)

**▶/||** : 再生、一時停止 (→P61)

**◀◀**、**▶▶** : トラックの選択 (曲の頭出し)  
(→P61)

**A.MENU** : メインメニューの表示 (→P65)

**DISP** : 表示の切り換え (→P60)

**→** : タッチキーの切り換え

**ESC** : タッチキーを画面から消す

### タッチキー（2ページ目）



**SEARCH** : グループ、トラックを指定して  
さがす (→P64)

**◀◀**、**▶▶** : タッチしている間、早戻し／早  
送り (→P61)

**▲**、**▼** : グループの選択 (→P62)

**||▶** : ブラウザブル静止画の切り換え  
(→P62)

**DISP** : 表示の切り換え (→P60)

**→** : タッチキーの切り換え

**ESC** : タッチキーを画面から消す

### タッチキー（3ページ目）



**AUDIO** : 音声の切り換え (→P63)

**SUB.T** : 字幕言語の切り換え (→P63)

**ANGLE** : アングルの切り換え (→P63)

**BROWSE** : ブラウザブル静止画用タッチ  
キーの呼び出し (→P62)

**◀▶** : ディスクメニュー用タッチキーの呼び出し  
(→P62)

**DISP** : 表示の切り換え (→P60)

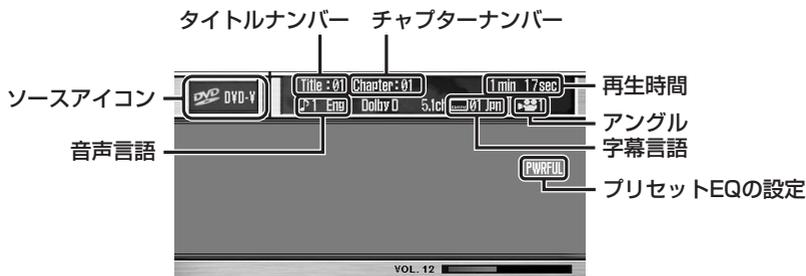
**→** : タッチキーの切り換え

**ESC** : タッチキーを画面から消す

## DVDビデオ

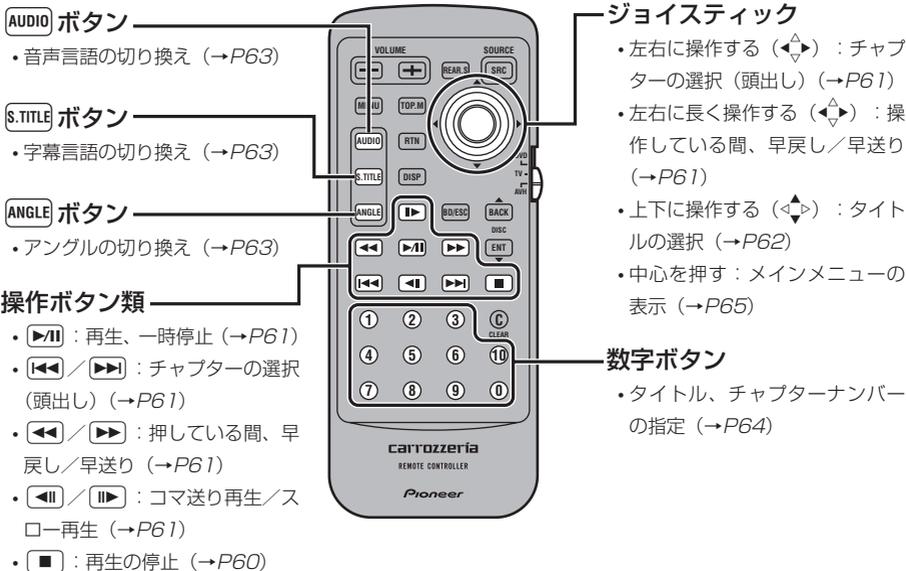
### 基本的なDVDビデオ画面の見かた

DVDビデオを見るとき画面には、以下のような情報が表示されます。情報プレートは、【DISP】ボタン、**[DISP]**ボタンを押すと表示されます。



### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるDVDビデオの操作は、AVHモードで行います。DVDビデオの基本操作には、以下のボタンを使用します。



#### メモ

- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するときや、ダイレクトサーチを数字ボタンで操作するときは、リモコンの操作モードをDVDモードにします。

## タッチキーでの基本的な操作

DVDビデオの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー（1ページ目）



**TOP.M** : DVDの最上位メニューの表示  
(→P62)

**MENU** : DVDのディスクメニューの表示  
(→P62)

**■** : 再生の停止 (→P60)

**▶/||** : 再生、一時停止 (→P61)

**◀▶** : チャプターの選択 (頭出し)  
(→P61)

**A.MENU** : メインメニューの表示 (→P65)

**DISP** : 表示の切り換え (→P60)

**→** : タッチキーの切り換え

**ESC** : タッチキーを画面から消す

### タッチキー（2ページ目）



**SEARCH** : タイトル、チャプターを指定してさがす (→P64)

**◀▶** : タッチしている間、早戻し／早送り (→P61)

**▲、▼** : タイトルの選択 (→P62)

**||▶** : コマ送り再生／スロー再生 (→P61)

**DISP** : 表示の切り換え (→P60)

**→** : タッチキーの切り換え

**ESC** : タッチキーを画面から消す

### タッチキー（3ページ目）



**AUDIO** : 音声言語の切り換え (→P63)

**SUB.T** : 字幕言語の切り換え (→P63)

**ANGLE** : アングルの切り換え (→P63)

**↔** : ディスクメニュー用タッチキーの呼び出し  
(→P62)

**DISP** : 表示の切り換え (→P60)

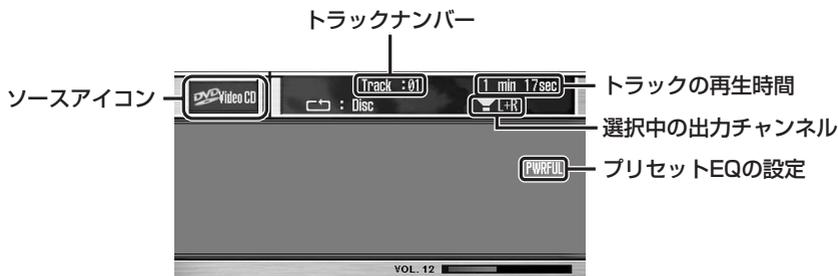
**→** : タッチキーの切り換え

**ESC** : タッチキーを画面から消す

## ビデオCD

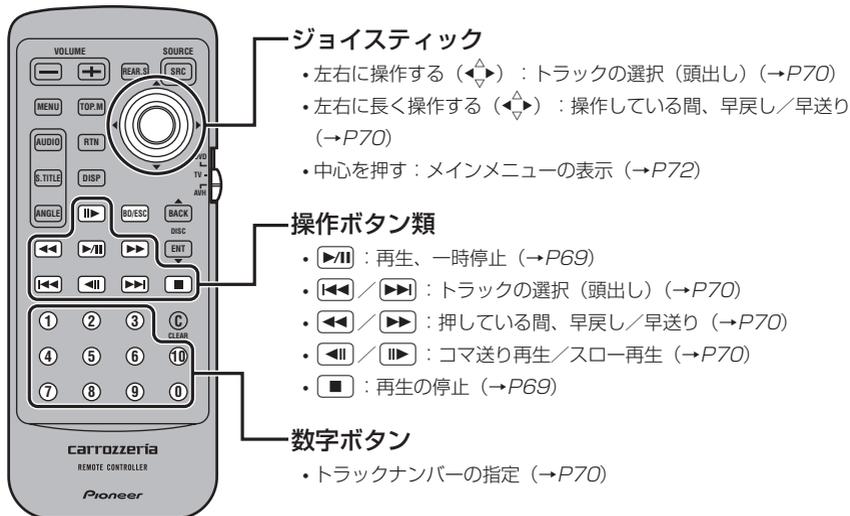
### 基本的なビデオCD画面の見かた

ビデオCDを見るときには、画面には、以下のような情報が表示されます。  
情報プレートは、【DISP】ボタン、**[DISP]**ボタンを押すと表示されます。



### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるビデオCDの操作は、AVHモードで行います。  
ビデオCDの基本操作には、以下のボタンを使用します。



#### メモ

- PBCメニューやダイレクトサーチを数字ボタンで操作するときは、リモコンの操作モードをDVDモードにします。

## タッチキーでの基本的な操作

ビデオCDの基本操作には、以下のタッチキーを使用します。

### タッチキー（1ページ目）



- : 再生の停止 (→P69)
- ▶/|| : 再生、一時停止 (→P69)
- ◀▶ : トラックの選択 (頭出し)  
(→P70)
- A.MENU** : メインメニューの表示 (→P72)
- : タッチキーの切り換え
- ESC** : タッチキーを画面から消す

### タッチキー（2ページ目）

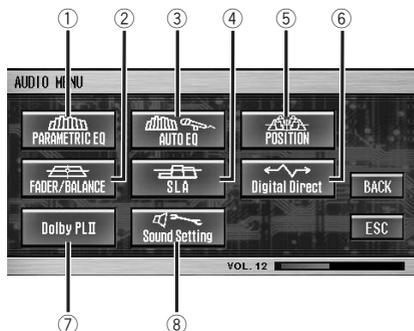


- SEARCH** : トラックを指定してさがす  
(→P70)
- ◀▶ : タッチしている間、早戻し/早送り (→P70)
- ||▶ : コマ送り再生/スロー再生 (→P70)
- : タッチキーの切り換え
- ESC** : タッチキーを画面から消す

## DSP (デジタルシグナルプロセッサ)

### DSPメニュー (AUDIOメニュー) 画面の見かた

DSP (デジタルシグナルプロセッサ) は、きめ細かく好みの音場を創り出すことができます。DSPは、メインメニューから**AUDIO**を選択して、設定します。

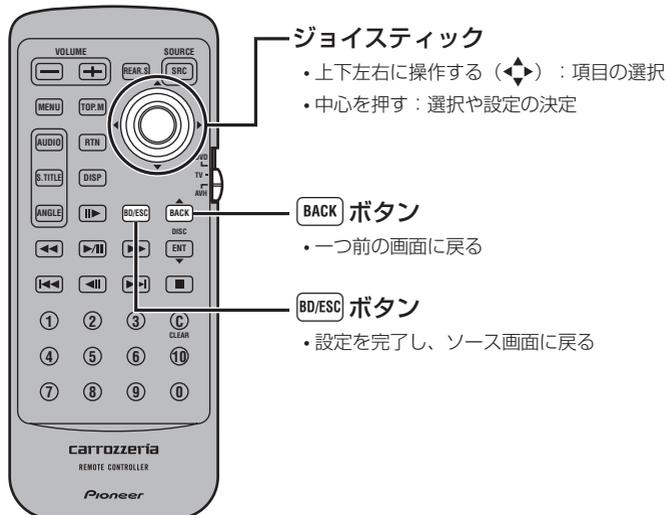


- ① 『イコライザーを使う』 (→P86)
- ② 『前後左右の音量バランスを調節する』 (→P88)
- ③ 『オートイコライザーをON/OFFする』 (→P87)
- ④ 『各ソースの音量の違いをそろえる』 (→P89)
- ⑤ 『リスニングポジションを選ぶ』 (→P88)
- ⑥ 『オリジナルの音質で聞く』 (→P89)
- ⑦ 『ドルビープロロジックⅡを使う』 (→P89)
- ⑧ 『接続したスピーカーを設定する』 (→P91)

### リモコンでの基本的な操作

リモコンによるDSPの操作は、AVHモードで行います。

DSPの基本操作には、以下のボタンを使用します。



# ラジオを聞く

## ラジオ (TUNER) に切り換える

### 1 ソースをラジオ (TUNER) に切り換える (→P20)

#### タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。



#### メモ

- ・約30秒間操作をしなかった場合、タッチキーは自動的に消えます。
- ・プリセットチャンネルリストは、**DISP** にタッチするたびに表示／非表示が切り換わります。出荷時は、表示されるよう設定されています。

#### バンドを切り換える

FMとAMのバンドを切り換えます。本機は、FM1、FM2、AM1、AM2と各バンド2つのリストを持っています。

### 1 **BAND** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2

#### メモ

- ・バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えて、BSM (→P47) を使うと便利です。

#### 放送局を選ぶ

放送局の選局は、プリセットチャンネルのダイレクト選局、プリセットチャンネル選局、マニュアル選局があります。

#### プリセットチャンネルについて

プリセットチャンネルとは、本機に登録されている放送局で、バンドごとにそれぞれ6局まで登録できます。(→P46)

#### ■プリセットチャンネルのダイレクト選局

### 1 **P1 : (放送局名) ~ P6 : (放送局名)** の中から聞きたい放送局にタッチする

選んだ放送局を受信します。

#### メモ

- ・プリセットチャンネルリストは、**DISP** にタッチするたびに表示／非表示が切り換わります。
- ・数字ボタン①～⑥を押して選局することもできます。

#### ■プリセットチャンネル選局

### 1 **▲ / ▼** にタッチして、聞きたい放送局を選ぶ

#### メモ

- ・ジョイスティックを上下に操作して選ぶこともできます。

## ■ マニュアル選局

### 1 ◀/▶にタッチする

周波数が切り換わります。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作して選ぶこともできます。
- ▶/▶にタッチし続けるか、ジョイスティックを左右に長く操作してから離すと、SEEKモードになります。選局を止めるときは、もう一度◀/▶にタッチするか、ジョイスティックを反対方向に操作します。

## プリセットチャンネルリストへ登録する

FM1、FM2、AM1、AM2に、それぞれ6局まで登録できます。お好みの放送局をお好みの順番で登録できます。

### 1 [BAND]にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

- リストが表示されていない場合は、[DISP]にタッチしてリストを表示します。

### 2 ▶/▶にタッチして、登録したい放送局を受信する

### 3 登録したいリストの番号に長く(約2秒)タッチする

選んだ番号に放送局名(または周波数)が表示され、登録が完了します。

#### メモ

- 続けて登録できます。
- 数字ボタン①~⑥を長く(約2秒)押すことでも登録できます。
- FUNCTIONメニューの「PRESET CH MEMORY」でも登録できます。

## いろいろな操作をする

受信状態の良い放送局の自動選局やプリセットチャンネルへの登録、放送局名選択の操作は、FUNCTIONメニューで行います。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 [A.MENU]にタッチする

メインメニューが表示されます。

### 2 [FUNCTION]にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



#### メモ

- [ESC]にタッチするか、[BD/ESC]ボタン、[BAND/ESC]ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- [BACK]にタッチするか、[BACK]ボタン、[BACK]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## 受信状態の良い放送局を自動的に登録する (BSM)

BSMとは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。受信状態の良い放送局をさがして、自動的に登録する機能です。

- 1 **BAND** にタッチして、登録したいバンドを選ぶ
- 2 **A.MENU**、**FUNCTION**、**BSM** の順にタッチする
- 3 **ON ▲** にタッチする



BSM (放送局自動登録) が始まります。登録動作中は、“BSM” が点滅します。登録が完了すると、“BSM” の点滅が終わります。

### メモ

- BSM中に **OFF ▼** にタッチすると、BSMを中止することができます。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、以前に登録した放送局が残ることがあります。

## 放送局名を選ぶ (STATIONS NAME MEMO)

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なります。受信している放送局名と表示されている放送局名が異なる場合に、放送局名の表示を変更することができます。

- 1 実際の放送局名と表示が異なる場合、**A.MENU**、**FUNCTION**、**STATIONS NAME MEMO** の順にタッチする



- 2 **◀ / ▶** にタッチして、放送局名を選ぶ
- 3 **MEMORY ▲** にタッチする  
選んだ放送局名に変更されます。
- 4 **ESC** にタッチする  
ソース画面に戻ります。

### メモ

- 本機に登録されていない放送局名は表示できません。
- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、“No data” と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更できます。

# CDを聞く

## 内蔵プレーヤー (CD) に切り換える

ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

### 1 ソースを内蔵プレーヤー (CD) に切り換える (→P20)

#### メモ

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、『再生できるディスクの種類』(→P120)をご覧ください。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。



#### メモ

-  にタッチすると、次のページのタッチキー表示に切り換わります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、タッチキーは自動的に消えます。

## 再生を停止する

### 1 にタッチする

## 一時停止する

### 1 にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度  にタッチします。

#### メモ

- FUNCTIONメニューの「PAUSE」でも一時停止をON/OFFできます。

## 早戻し/早送りする

### 1 / にタッチし続ける

タッチしている間、早戻し/早送りができます。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作して早戻し/早送りすることもできます。左右に操作している間、早戻し/早送りができます。

## トラックを選択する (頭出し)

### 1 / にタッチする

 にタッチすると、現在再生中のトラックの始めから再生されます。 にタッチすると、次のトラックの始めから再生されます。またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラックを飛ばすことができます。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作してトラックを選択することもできます。操作した回数分のトラックを飛ばすこともできます。

## いろいろな操作をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューで行います。

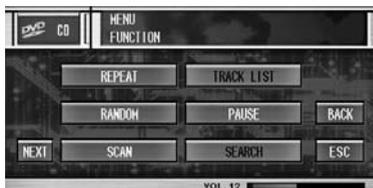
### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 **A.MENU** にタッチする

メインメニューが表示されます。

#### 2 **FUNCTION** にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。
- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。(→P67)

### リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、再生中のディスク全体を繰り返す「DISC」と、現在再生中のトラック(曲)を繰り返す「TRACK」があります。

#### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**REPEAT** の順にタッチする

#### 2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



**DISC** 再生中のディスク全体を繰り返す

**TRACK** 現在再生中のトラックを繰り返す

選んだリピート範囲で、リピート再生します。

#### メモ

- リピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

### ランダム再生する (RANDOM)

曲を順不同(ランダム)に再生します。

#### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**RANDOM** の順にタッチする

#### 2 **ON ▲** にタッチする



ランダム再生が始まります。ランダム再生をやめるときは、**OFF ▼** にタッチします。

#### メモ

- ランダム再生をONにすると、ソース画面に「RANDOM」が表示されます。

## スキャン再生する (SCAN)

曲の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生します。

### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**SCAN**の順にタッチする

### 2 **ON ▲**にタッチする



スキャン再生が始まります。

### 3 聞きたい曲が再生されたら、**OFF ▼**にタッチする

#### メモ

- ・スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

CD TEXT再生中に、トラックタイトル(曲名)のリストから、聞きたいトラックを選んで再生できます。

### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**TRACK LIST**の順にタッチする

トラック名のリストが表示されます。



リストは一度に6つのトラック名を表示します。

### 2 聞きたいトラック名にタッチする

選んだトラックの再生が始まります。

#### メモ

- ・再生中のディスクに6トラック以上収録されている場合、**NEXT**にタッチすると、次の6トラックに表示が切り換わります。また、**PREV**にタッチすると、前の6トラックに表示が切り換わります。

## タイトルを入力する (TITLE EDIT)

CDにタイトルを入力できます。入力したタイトルは本機に登録され、ディスクを挿入するたびに表示されます。

- ・タイトルは20文字まで入力できます。
- ・内蔵プレーヤーでは、CDタイトルを48枚分まで登録できます。
- ・48枚を超えたときは、いちばん古いCDのタイトルが消去されて、新しいCDが登録されます。

### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**NEXT**の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

### 2 **TITLE EDIT**にタッチする

タイトル入力画面が表示されます。



### 3 **ABC**、**012**、**アイウ**にタッチして、入力する文字種を切り換える

**ABC** アルファベットの大文字 (A~Z) とアルファベットの小文字 (a~z) の切り換え

**012** 数字と記号 (0~9、! " # など) への切り換え

**アイウ** カタカナ (ア~ン) と拗促音、濁点、半濁音 (アイウエオヤユヨツ゜゜) の切り換え

- ・ジョイスティックの中心を押すことで、次の順に切り換えることもできます。  
アルファベットの大文字→アルファベットの小文字→数字と記号→カタカナ→拗促音、濁点、半濁音

### 4 **▲**/**▼**にタッチして、入力する文字や記号を選択する

### 5 **◀**/**▶**にタッチして、入力する位置を移動する

### 6 入力が終わったら、**OK**にタッチする

入力したタイトルが登録されます。

### 7 **ESC**にタッチする

ソース画面に戻ります。

## CD TEXTの情報を表示する

本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。CD TEXT (→P11) に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示できます。

### ■タイトル表示を切り換える

ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで一度に表示させることができます。また、タイトルをスクロールさせることもできます。

### 1 CD TEXT再生中に、**DISP**にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ディスクタイトル (DiscTitle) →  
ディスクアーティスト名 (DiscArtist) →  
トラックタイトル (TrackTitle) →  
トラックアーティスト名 (TrackArtist)

#### メモ

- ・トラックアーティスト名 (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO ARTIST” などが表示されます。
- ・**DISP** に長く (約2秒) タッチすると、タイトルをスクロールさせることができます。

# MP3を聞く

## 内蔵プレーヤー (MP3) に切り換える

ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

### 1 ソースを内蔵プレーヤー (MP3) に切り換える (→P20)

#### メモ

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には“FORMAT READ”が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、『再生できるディスクの種類』(→P120)をご覧ください。
- MP3ファイルと音楽データが混在したディスクを再生する場合は、**DA<>MP3**にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、MP3ファイルと音楽データを切り換えて再生できます。MP3ファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は最初のトラック (曲) から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字は表示されません。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。



#### メモ

- **→** にタッチすると、次のページのタッチキー表示に切り換わります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、タッチキーは自動的に消えます。

## MP3のタイトルを表示する

MP3ファイルに記録されているトラックタイトルやフォルダー名、アルバム名などの文字情報を表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで、一度に表示させることができます。また、タイトルをスクロールさせることもできます。

### 1 **DISP** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

- フォルダー名 (FolderName) →
- ファイル名 (FileName) →
- トラックタイトル (TrackTitle) →
- アーティスト名 (ArtistName) →
- アルバム名 (AlbumTitle) →
- コメント (Comment) →
- ビットレート (BitRate)

**メモ**

- VBR (可変ビットレート) で記録されたファイルを再生している場合、“VBR” と表示されます。
- MP3をライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。  
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- MP3ファイルに記録された文字によっては、本機では表示できないことがあります。
- トラックタイトル (TrackTitle) などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、“NO TITLE” などが表示されます。
- **DISP** に長く (約2秒) タッチすると、タイトルをスクロールさせることができます。

**再生を停止する****1** **□** にタッチする**一時停止する****1** **▶||** にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度 **▶||** にタッチします。

**メモ**

- FUNCTIONメニューの「PAUSE」でも一時停止をON/OFFできます。

**早戻し／早送りする****1** **◀◀** / **▶▶** にタッチし続ける

タッチしている間、早戻し／早送りができます。

**メモ**

- ジョイスティックを左右に操作して早戻し／早送りすることもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

**トラックを選択する (頭出し)****1** **◀◀** / **▶▶** にタッチする

**◀◀** にタッチすると、現在再生中のトラックの始めから再生されます。**▶▶** にタッチすると、次のトラックの始めから再生されます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラックを飛ばすことができます。

**メモ**

- ジョイスティックを左右に操作してトラックを選択することもできます。操作した回数分のトラックを飛ばすこともできます。

**フォルダーを切り換える****1** **▲** / **▼** にタッチする

フォルダーの番号順に切り換えることができます。

**メモ**

- ジョイスティックを上下に操作して切り換えることもできます。
- **[0/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを長く (約2秒) 押しすと、フォルダー001 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー001 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

## いろいろな操作をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューで行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 **A.MENU**にタッチする

メインメニューが表示されます。

#### 2 **FUNCTION**にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。
- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。(→P67)

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、再生中のディスク全体を繰り返す「DISC」と、フォルダー内を繰り返す「FOLDER」と、現在再生中のトラック（曲）を繰り返す「TRACK」があります。

#### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**REPEAT**の順にタッチする

#### 2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



<b>DISC</b>	再生中のディスク全体を繰り返す
<b>FOLDER</b>	現在再生中のフォルダーを繰り返す
<b>TRACK</b>	現在再生中のトラックを繰り返す

選んだリピート範囲で、リピート再生します。

#### メモ

- 「FOLDER」を選択した場合、サブフォルダー内のファイルは再生されません。
- 「TRACK」を選択した場合、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート範囲が「FOLDER」に切り換わります。
- MP3ファイルと音楽データが混在したディスクでは、「DISC」を選択しても、MP3ファイルまたは音楽データのどちらかだけを再生します。

## ランダム再生する (RANDOM)

選択したリピート範囲で、曲を順不同(ランダム)に再生します。

### 1 リピート範囲を選択する (→前項)

選択したリピート範囲でランダム再生を行います。

### 2 **BACK**、**RANDOM**の順にタッチする

### 3 **ON ▲**にタッチする



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生をやめるときは、**OFF ▼**にタッチします。

#### メモ

- ランダム再生をONにすると、ソース画面に“RANDOM”が表示されます。
- 「FOLDER」を選択した場合、サブフォルダー内のファイルはランダム再生されません。
- リピート範囲で「TRACK」を選択しているときにランダム再生をONにすると、リピート範囲が「FOLDER」に切り換わり、ランダム再生します。

## スキャン再生する (SCAN)

今聞いているフォルダーの曲の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生します(トラックスキャン)。また、すべてのフォルダーの1曲目の始めの部分だけを次々に再生することもできます(フォルダースキャン)。

### 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

リピート範囲で「FOLDER」を選択します。再生中のフォルダーの全曲を約10秒ずつ再生できます。(サブフォルダー内の曲はスキャン再生できません。)

### 聞きたいフォルダーをさがすとき (フォルダースキャン再生)

リピート範囲で「DISC」を選択します。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

### 1 リピート範囲を選択する (→P54)

### 2 **BACK**、**SCAN**の順にタッチする

### 3 **ON ▲**にタッチする



スキャン再生が始まります。

### 4 聞きたい曲(フォルダー)が再生されたら、**OFF ▼**にタッチする

#### メモ

- スキャン再生を始めた曲(フォルダー)まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- リピート範囲で「TRACK」を選択しているときにスキャン再生をONにすると、リピート範囲が「FOLDER」に切り換わり、スキャン再生します。

## リストからファイル名で選んで再生する (FOLDER&TRACK LIST)

ファイル名（曲名）のリストから、聞きたいファイルを選んで再生できます。

### 1 A.MENU、FUNCTION、FOLDER&TRACK LISTの順にタッチする

フォルダー名／ファイル名のリストが表示されます。



リストは一度に6つのフォルダー名／ファイル名を表示します。

### 2 聞きたいファイル名（♪）にタッチする

選んだファイルの再生が始まります。

- フォルダー名（■）にタッチすると、そのフォルダー内のファイル名のリスト表示になります。

#### メモ

- 再生中のディスク（フォルダー）に6ファイル（フォルダー）以上収録されている場合、**NEXT** にタッチすると、次の6ファイル（フォルダー）に表示が切り換わります。また、**PREV** にタッチすると、前の6ファイル（フォルダー）に表示が切り換わります。
- **UP** にタッチすると、1階層上のフォルダーに移動します。

# テレビを見る

## ご注意

・停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、テレビの映像を見ることができます。走行中は安全のため、テレビの映像は表示されません。(音声を聞くことができます。)

## テレビ (TV) に切り換える

### 1 ソースをテレビ (TV) に切り換える (→P20)

ソースを切り換えると、情報プレートが約8秒間表示されます。

プリセットチャンネルリストは、前回表示していた場合に表示されます。

#### メモ

- ・本機では、地上デジタルテレビジョン放送は受信できません。
- ・地上デジタルテレビジョン放送については、別紙の『地上デジタルテレビジョン放送について』をご覧ください。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

情報プレートとタッチキーが表示されます。



#### メモ

- ・約30秒間操作をしなかった場合、情報プレートとタッチキーは自動的に消えます。
- ・プリセットチャンネルリストは、**DISP** にタッチするたびに表示／非表示が切り換わります。出荷時は、表示されるよう設定されています。

## バンドを切り換える

本機はTV1、TV2と2つのバンドを持っています。

### 1 BAND にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

TV1→TV2

## チャンネルを選ぶ

チャンネルの選局は、プリセットチャンネルのダイレクト選局、プリセットチャンネル選局、マニュアル選局があります。

### プリセットチャンネルについて

プリセットチャンネルとは、本機に登録されているチャンネルで、バンドごとにそれぞれ12局まで登録できます。(→P58)

### ■プリセットチャンネルのダイレクト選局

### 1 P 1: ~ P 12: の中から見たいチャンネルにタッチする

選んだチャンネルを受信します。

プリセットチャンネルリストは、1~6と7~12の6チャンネルずつ表示されます。

#### メモ

- ・**NEXT** にタッチすると、リストの次のページ (7~12に登録されたチャンネル) を表示することができます。
- ・前のページ (1~6に登録されたチャンネル) に戻るには **PREV** にタッチします。
- ・プリセットチャンネルリストは、**DISP** にタッチするたびに表示／非表示が切り換わります。
- ・数字ボタン①~⑥を押して選局することもできます。

## ■プリセットチャンネル選局

### 1 ▲/▼にタッチして、見たいチャンネルを選ぶ

#### メモ

- ・ジョイスティックを上下に操作して選ぶこともできます。

## ■マニュアル選局

### 1 ◀/▶にタッチする

チャンネルが切り換わります。

#### メモ

- ・ジョイスティックを左右に操作して選ぶこともできます。
- ・◀/▶にタッチし続けるか、ジョイスティックを左右に長く操作してから離すと、SEEKモードになります。選局を止めるときは、もう一度◀/▶にタッチするか、ジョイスティックを反対方向に操作します。

## プリセットチャンネルリストへ登録する

TV1、TV2に、それぞれ12局まで登録できます。お好みのチャンネルをお好みの順番で登録できます。

### 1 BANDにタッチして、登録したいバンドを選ぶ

- ・リストが表示されていない場合は、DISPにタッチしてリストを表示します。

### 2 ◀/▶にタッチして、登録したいチャンネルを受信する

### 3 登録したいリストの番号に、長く(約2秒)タッチする

選んだ番号にチャンネルが表示され、登録が完了します。

#### メモ

- ・続けて登録できます。
- ・数字ボタン①～⑥を長く(約2秒)押すことでもプリセットチャンネル1～6に登録できます。(数字ボタンでは、プリセットチャンネル7～12に登録できません。)
- ・FUNCTIONメニューの「PRESET CH MEMORY」でも登録できます。

## いろいろな操作をする

受信状態の良いチャンネルの自動選局や2カ国語放送の音声切り換えなどの操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 A.MENUにタッチする

メインメニューが表示されます。

### 2 FUNCTIONにタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



**メモ**

- **ESC** にタッチするか、**[BAND/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## 受信状態の良いチャンネルを自動的に登録する (BSSM)

BSSMとは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略です。受信状態の良いチャンネルをさがして、自動的に登録する機能です。

### 1 **BAND** にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

### 2 **A.MENU**、**FUNCTION**、**BSSM** の順にタッチする

### 3 **ON ▲** にタッチする



BSSM (チャンネル自動登録) が始まります。

登録動作中は、「BSSM」が点滅します。登録が完了すると、「BSSM」の点滅が終わります。

**メモ**

- BSSM中に **OFF ▼** にタッチすると、BSSMを中止できます。
- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に登録したチャンネルが残ることがあります。

## 音声多重放送 (2カ国語放送) の音声を切り換える (MULTIPLEX)

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。音声多重放送を受信しているときに、音声を切り換えることができます。

### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**MULTIPLEX** の順にタッチする

### 2 **◀▶** にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

MAIN (主音声) → SUB (副音声) → MAIN+SUB (主音声+副音声)

**メモ**

- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語 (例: 英語) で放送しています。(逆の場合もあります。)

# DVDを見る

## ご注意

- ・停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、DVDの映像を見ることが出来ます。走行中は安全のためDVDの映像は表示されません。(音声は聞くことが出来ます。)

## 内蔵プレーヤー (DVD) に切り換える

ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

### 1 ソースを内蔵プレーヤー (DVD) に切り換える (→P20)

ソースを切り換えると、情報プレートが約8秒間表示されます。

#### メモ

- ・ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には“FORMAT READ”が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- ・ディスクによっては操作を受け付けない部分があります。そのような場合は、**⊘** (禁止マーク) が表示されます。(ディスクによっては、表示されないこともあります。)
- ・ディスクによっては、最初にディスクメニューが表示されるものがあります。その場合は、ディスクメニューから操作を行います。(→P62)
- ・ディスク特有のメニューの操作方法は、ディスクの説明書をご覧ください。
- ・本機で利用できるディスクに関しては、『再生できるディスクの種類』(→P120)をご覧ください。
- ・前回、再生途中で他のソースに切り換えていた場合は、ディスクのその場所から再生が再開されます。ディスクを抜き差しした場合は、ディスクの最初から再生されます。
- ・96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクを再生しているときは、フロントスピーカーだけから音声が出力されます。

## ■DVD情報の切り換え

DVD再生中は、情報プレートに言語や字幕、アングルなどの情報が表示されます。情報プレートは、**[DISP]** ボタンを押すと表示されます。もう一度押すと、現在のリピート範囲が表示されます。

#### メモ

- ・約8秒間操作をしなかった場合、情報プレートは自動的に消えます。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

情報プレートとタッチキーが表示されます。



#### メモ

- ・**▶** にタッチすると、次のページのタッチキー表示に切り換わります。
- ・約30秒間操作をしなかった場合、情報プレートとタッチキーは自動的に消えます。

## 再生を停止する

### 1 **□** にタッチする

## 一時停止する

### 1 にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度  にタッチします。

#### メモ

- ・FUNCTIONメニューの「PAUSE」でも一時停止をON/OFFできます。

## コマ送り／スロー再生する

### ■ コマ送り再生

#### 1 にタッチする

タッチするたびに、映像がコマ送りされます。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

#### メモ

- ・DVDオーディオのブラウザブル静止画(→P62、P128)を再生しているときは、静止画のコマ送りができます。

### ■ スロー再生

#### 1 再生中に “▶” が表示されるまで

##### にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。

スロー再生中に  /  を押すと、スロー再生の速度を4段階(1/16→1/8→1/4→1/2)で切り換えることができます。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

#### メモ

- ・コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ・DVDオーディオでは、映像が記録されているトラックのみ、コマ送りやスロー再生ができます。

- ・ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、コマ送り／スロー再生ができない場合があります。
- ・ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- ・コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

## 早戻し／早送りする

### 1 / にタッチし続ける

タッチしている間、早戻し／早送りができます。

 /  にタッチし続ける(約5秒)

と、早戻し／早送りのままになります。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

#### メモ

- ・ジョイスティックを左右に操作して早戻し／早送りすることもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## チャプター(トラック)を選択する(頭出し)

### 1 / にタッチする

 にタッチすると、現在再生中のチャプター(トラック)の始めから再生されます。 にタッチすると、次のチャプター(トラック)の始めから再生されます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のチャプター(トラック)を飛ばすことができます。

#### メモ

- ・ジョイスティックを左右に操作してチャプター(トラック)を選択することもできます。操作した回数分のチャプター(トラック)を飛ばすこともできます。

## DVDディスクのディスクメニューを操作する

DVDディスクのディスクメニューを操作できます。

### 1 **MENU** または **TOP.M** にタッチする

ディスクメニューが表示されます。もう一度 **MENU** または **TOP.M** にタッチすると、再生を再開できます。

### 2 **◀▶** にタッチする

ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。



### 3 **▲/▼/◀/▶** にタッチして、メニューを操作する

### 4 **ENTER** にタッチする

選択したメニューから再生されます。

### 5 **ESC** にタッチする

ディスクメニュー用タッチキーが画面から消えます。

#### メモ

- ・ジョイスティックを上下左右に操作してメニューを選択することもできます。また、ジョイスティックの中心を押すことで、選択したメニューから再生することもできます。(この場合、リモコンの操作モードをDVDモードにします。(→P17))
- ・ディスクによっては、ディスクメニューのないものや、表示されない場合もあります。
- ・メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

## タイトル(グループ)を切り換える

### 1 **▲/▼** にタッチする

再生するタイトル(グループ)を切り換えることができます。

#### メモ

- ・ジョイスティックを上下に操作してタイトル(グループ)を切り換えることもできます。
- ・DVDオーディオのボーナスグループに切り換えると、暗証番号入力画面が表示されます。ボーナスグループを再生するには、暗証番号を入力します。(→P111)

## 静止画を切り換える(DVDオーディオのみ)

DVDオーディオに静止画(ブラウザル静止画)が複数枚収録されている場合、静止画を切り換えることができます。

### 1 **BROWSE** にタッチする

ブラウザル静止画用タッチキーが表示されます。



### 2 **PAGE+** / **PAGE-** にタッチする

ブラウザル静止画が切り換わります。**HOME** にタッチすると、一番始めの静止画に戻ります。

**メモ**

-  にタッチして、ブラウザブル静止画を切り換えることもできます。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、静止画の切り換えができない場合があります。
- リモコンのジョイスティックでも操作できます。(この場合、リモコンの操作モードをDVDモードにします。(→P17))

**再生中に音声や言語を切り換える**

再生中に言語や音声タイプ(ドルビーデジタルやDTS)を切り換えることができます。

**1 再生中に **AUDIO** にタッチする**

タッチするたびに、音声が切り換わります。

**メモ**

- この機能は、音声が複数収録されている場合だけ操作できます。
- ディスクのパッケージにある  マークの数字が音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- “Dolby D” や “5.1ch” などの表示は、DVDに収録されている音声を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。
- 音声言語の設定は、DVDセットアップメニューでも行うことができます。(→P107)

**再生中に字幕言語を切り換える**

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます。

**1 再生中に **SUB.T** にタッチする**

タッチするたびに、字幕言語が切り換わります。

**メモ**

- この機能は、字幕が複数収録されている場合だけ操作できます。
- ディスクのパッケージにある  マークの数字が字幕の収録数です。
- ディスクによっては、ディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- 字幕言語の設定は、DVDセットアップメニューでも行うことができます。(→P106)

**再生中にアングルを切り換える**

アングルが複数収録されているディスクの場合、再生中にアングルを切り換えることができます。

**アングル切り換えができる場面について**

本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下にマルチアングルマーク()を表示して知らせます。

マルチアングルマーク表示のON/OFFは、DVDセットアップメニューで行います。詳しくは『マルチアングルマークの表示/非表示を設定する』(→P109)をご覧ください。

**1 再生中に **ANGLE** にタッチする**

タッチするたびに、アングルが切り換わります。

**メモ**

- この機能は、アングルが複数収録されている場合だけ操作できます。
- ディスクのパッケージにある  マークの数字がアングルの収録数です。

## 見たい(聞きたい)場所を指定して再生する

見たい(聞きたい)場所のチャプターやトラック、時間などを指定して、その場所から再生できます。

### 1 **SEARCH** にタッチする

### 2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする



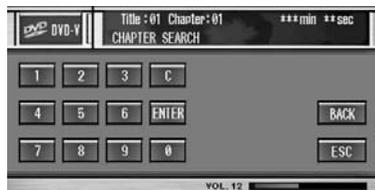
#### DVDビデオ

<b>TITLE</b>	タイトルサーチ
<b>CHAPTER</b>	チャプターサーチ
<b>TIME</b>	タイムサーチ (再生時間によるサーチ)

#### DVDオーディオ

<b>GROUP</b>	グループサーチ
<b>TRACK</b>	トラックサーチ

### 3 **0**～**9** にタッチして、ナンバーまたは時間を入力する



#### 数字キーの使いかた (例)

3を選ぶとき	<b>3</b> にタッチする
10を選ぶとき	<b>1</b> と <b>0</b> にタッチする
23を選ぶとき	<b>2</b> と <b>3</b> にタッチする
入力を取り消すとき	<b>C</b> にタッチする

#### 時間の入力のしかた (例)

21分43秒を入力するとき	<b>2</b> ・ <b>1</b> ・ <b>4</b> ・ <b>3</b> の順にタッチする
1時間11分(71分00秒)を入力するとき	<b>7</b> ・ <b>1</b> ・ <b>0</b> ・ <b>0</b> の順にタッチする

### 4 **ENTER** にタッチする

指定した場所から再生されます。

#### メモ

- ・ジョイスティックやリモコンの数字ボタンでも操作できます。
- ・無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク) が表示され、入力を取り消される場合があります。
- ・再生停止中は、チャプターサーチやタイムサーチの操作はできません。
- ・FUNCTIONメニューの「SEARCH」でもサーチできます。

### ■ タイトル (グループ) のダイレクトサーチ

ディスクの再生停止中に、リモコンの数字ボタンでタイトル (グループ) を指定して再生できます。(この場合、リモコンの操作モードをDVDモードにします。(→ P17))

### 1 再生停止中に、見たいタイトル (グループ) ナンバーの数字ボタンを押す

指定したタイトル (グループ) が再生されます。

#### 数字ボタンの使いかた (例)

3を選ぶとき	<b>3</b> を押す
10を選ぶとき	<b>10</b> と <b>0</b> を押す
23を選ぶとき	<b>10</b> ・ <b>10</b> ・ <b>3</b> の順に押す

## いろいろな操作をする

リピートやサーチなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューで行います。DVDビデオとDVDオーディオでは、異なる場合があります。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 **A.MENU** にタッチする

メインメニューが表示されます。

#### 2 **FUNCTION** にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

### リピート再生する (REPEAT)

リピート再生は、再生中のディスク全体を繰り返し再生したり、現在再生中のチャプター（トラック）を繰り返し再生するなど繰り返し再生する範囲を選択できます。

#### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**REPEAT** の順にタッチする

#### 2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



#### DVDビデオ

<b>DISC</b>	再生中のディスク全体を繰り返す
<b>TITLE</b>	現在再生中のタイトルを繰り返す
<b>CHAPTER</b>	現在再生中のチャプターを繰り返す

#### DVDオーディオ

<b>DISC</b>	再生中のディスク全体を繰り返す
<b>GROUP</b>	現在再生中のグループを繰り返す
<b>TRACK</b>	現在再生中のトラックを繰り返す

選んだリピート範囲で、リピート再生します。

#### メモ

- **DISP** にタッチして情報プレートの表示を切り換えると、リピート機能の情報を確認できます。
- リピート再生中に、早戻し／早送りの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

## ランダム再生する (RANDOM) (DVDオーディオのみ)

現在再生中のグループ内の曲を順不同 (ランダム) に再生します。

- 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**RANDOM** の順にタッチする
- 2 **ON ▲** にタッチする



ランダム再生が始まります。  
ランダム再生をやめるときは、**OFF ▼** にタッチします。

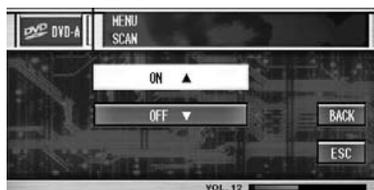
### メモ

- ランダム再生の情報は、**[DISP]** ボタンを押すとソース画面に表示されます。

## スキャン再生する (SCAN) (DVDオーディオのみ)

現在再生しているグループの曲の始めの部分 (約10秒間) だけを次々に再生します。

- 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**SCAN** の順にタッチする
- 2 **ON ▲** にタッチする



スキャン再生が始まります。

- 3 聞きたい曲が再生されたら、**OFF ▼** にタッチする

### メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## ダイナミックレンジコントロールを使う (D.R.C)

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げている場合に小さな音も聞き取りやすくする機能です。

### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**NEXT**の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

### 2 **D.R.C**にタッチする

### 3 **ON ▲**にタッチする



ダイナミックレンジコントロールがONになります。

ダイナミックレンジコントロールをOFFにするときは、**OFF ▼**にタッチします。

#### メモ

- ダイナミックレンジコントロールの効果を得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

# ビデオCDを見る

## で注意

- ・停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、ビデオCDの映像を見ることができます。走行中は安全のためビデオCDの映像は表示されません。(音声は聞くことができます。)

## 内蔵プレーヤー (Video CD) に切り換える

ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

### 1 ソースを内蔵プレーヤー (Video CD) に切り換える (→P20)

ソースを切り換えると、情報プレートが約8秒間表示されます。

#### メモ

- ・ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には“FORMAT READ”が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- ・ディスクによっては操作を受け付けない部分があります。そのような場合は、**⊘** (禁止マーク) が表示されます。(ディスクによっては、表示されないこともあります。)
- ・PBC (プレイバックコントロール) 機能付きディスクでは、最初にPBCメニューが表示されるものがあります。その場合は、PBCメニューから操作を行います。PBC機能はON/OFFできます。(→P69)
- ・本機で使用できるディスクに関しては、『再生できるディスクの種類』(→P120)をご覧ください。

## ■ビデオCD情報の切り換え

ビデオCD再生中は、情報プレートにトラックナンバーや再生時間などの情報が表示されます。情報プレートは、**[DISP]** ボタンを押すと表示されます。

#### メモ

- ・約8秒間操作をしなかった場合、情報プレートは自動的に消えます。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

情報プレートとタッチキーが表示されます。



#### メモ

- ・**[→]** にタッチすると、次のページのタッチキー表示に切り換わります。
- ・約30秒間操作をしなかった場合、情報プレートとタッチキーは自動的に消えます。

## PBCメニューを操作する

PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオCDを再生している場合、PBCメニューを操作できます。この場合、リモコンの操作モードをDVDモードにします。（→P17）

### 1 PBCメニュー表示中に数字ボタンを押して、メニューを選択する

選択したメニューから再生されます。

#### メモ

- PBC再生中にPBCメニューを表示するには、**[RTN]** ボタンを押します。
- メニュー画面が2ページ以上ある場合、**[◀▶]** ボタンを押して、表示を切り換えます。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

### ■ PBC再生をOFFにする (ダイレクトサーチ)

見たい（聞きたい）トラックを指定して再生できます。この場合、リモコンの操作モードをDVDモードにします。（→P17）

### 1 □ にタッチする

再生が停止します。

## 2 数字ボタンを押して、トラックを指定する

再生が始まります。

数字ボタンの使いかた（例）

3を選ぶとき **[3]**を押す

10を選ぶとき **[10]**と**[0]**を押す

23を選ぶとき **[10]**・**[10]**・**[3]**の順に押す

#### メモ

- PBC再生をONにするには、再生停止中に**[▶||]**にタッチします。

## 再生を停止する

### 1 □ にタッチする

### 一時停止する

### 1 ▶|| にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度**[▶||]**にタッチします。

#### メモ

- FUNCTIONメニューの「PAUSE」でも一時停止をON/OFFできます。

## コマ送り／スロー再生する

### ■コマ送り再生

#### 1 にタッチする

タッチするたびに、映像がコマ送りされます。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

### ■スロー再生

#### 1 再生中に “▶” が表示されるまで

##### にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。

スロー再生中に  /  を押すと、スロー再生の速度を4段階（1/16→1/8→1/4→1/2）で切り換えることができます。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

#### メモ

- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、コマ送り／スロー再生ができない場合があります。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

## 早戻し／早送りする

#### 1 / にタッチし続ける

タッチしている間、早戻し／早送りができます。

 /  にタッチし続ける（約5秒）と、早戻し／早送りのままになります。

 にタッチすると、通常再生に戻ります。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作して早戻し／早送りすることもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## トラックを選択する（頭出し）

#### 1 / にタッチする

 にタッチすると、現在再生中のトラックの始めから再生されます。 にタッチすると、次のトラックの始めから再生されます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラックを飛ばすことができます。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作してトラックを選択することもできます。操作した回数分のトラックを飛ばすこともできます。

## 見たい場所を指定して再生する

見たい（聞きたい）場所のトラックや時間を指定して、その場所から再生できます。（PBC再生中は、操作できません。）

#### 1 **SEARCH** にタッチする

## 2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする



<b>TRACK</b>	トラックサーチ
<b>TIME</b>	タイムサーチ (再生時間によるサーチ)

## 3 0～9にタッチして、ナンバーまたは時間を入力する



### 数字キーの使いかた（例）

3を選ぶとき	<b>3</b> にタッチする
10を選ぶとき	<b>1</b> と <b>0</b> にタッチする
23を選ぶとき	<b>2</b> と <b>3</b> にタッチする
入力を取り消すとき	<b>C</b> にタッチする

### 時間の入力のしかた（例）

21分43秒を入力するとき	<b>2</b> ・ <b>1</b> ・ <b>4</b> ・ <b>3</b> の順にタッチする
1時間11分(71分00秒)を入力するとき	<b>7</b> ・ <b>1</b> ・ <b>0</b> ・ <b>0</b> の順にタッチする

## 4 **ENTER**にタッチする

指定した場所から再生されます。

### メモ

- ジョイスティックやリモコンの数字ボタンでも操作できます。
- 無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、**⊘**（禁止マーク）が表示され、入力を取り消される場合があります。
- 再生停止中には、タイムサーチはできません。
- FUNCTIONメニューの「SEARCH」でもサーチできます。

## 音声の出力方法を切り換える

音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

### 1 再生中に **AUDIO** ボタンを押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

ステレオ (L+R) →モノ左 (L) →モノ右 (R)

### メモ

- DISP** を押して情報プレートを表示すると、切り換えた出力方法を確認できます。
- FUNCTIONメニューの「L/R SELECT」でも音声の出力方法を切り換えることができます。

## いろいろな操作をする

リピートやサーチなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューで行います。

### FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 **A.MENU**にタッチする

メインメニューが表示されます。

#### 2 **FUNCTION**にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。
- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。(→P67)

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、再生中のディスク全体を繰り返す「DISC」と、現在再生中のトラックを繰り返す「TRACK」があります。(PBC再生中は、リピート範囲の切り換えはできません。)

#### 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**REPEAT**の順にタッチする

#### 2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



**DISC** 再生中のディスク全体を繰り返す

**TRACK** 現在再生中のトラックを繰り返す

選んだリピート範囲で、リピート再生します。

#### メモ

- **[DISP]** ボタンを押すと、リピート機能の情報を確認できます。
- リピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

# マルチCDプレイヤーを操作する

## マルチCD (M-CD) に切り換える

### 1 ソースをマルチCD (M-CD) に切り換える (→P20)

ディスクタイトルリストは、前回表示していた場合に表示されます。

#### メモ

- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合は、“READY”が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAGAZINE”が表示されます。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。



#### メモ

- 約30秒間操作をしなかった場合、タッチキーは自動的に消えます。

## ディスクを選ぶ

### ■ ディスクタイトルリストから直接選ぶ

### 1 01: (ディスクタイトル) ~ 12: (ディスクタイトル) の中から聞きたいディスクにタッチする

選んだディスクを再生します。ディスクタイトルリストは、1~6枚目と7~12枚目の6枚ずつ表示されます。

#### メモ

- **NEXT** にタッチすると、リストの次のページ (7~12枚目のディスク) を表示することができます。
- 前のページ (1~6枚目のディスク) に戻るには **PREV** にタッチします。
- ディスクタイトルリストは、**DISP** にタッチするたびに表示/非表示が切り換わります。
- 数字ボタン①~⑥を押してディスクを選択することもできます。7~12枚目のディスクを選択する場合は、数字ボタン①~⑥を長く (約2秒) 押しします。
- 50枚型マルチCDプレイヤーを接続している場合でも、ディスクタイトルリストは12枚までの表示になります。

### ■ ディスクを切り換える

### 1 ▲/▼にタッチして、ディスクを切り換える

#### メモ

- ジョイスティックを上下に操作して切り換えることもできます。

## 早戻し／早送りする

### 1 ◀/▶にタッチし続ける

タッチしている間、早戻し／早送りができます。

#### メモ

- ・ジョイスティックを左右に操作して早戻し／早送りすることもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

## トラックを選択する（頭出し）

### 1 ◀/▶にタッチする

◀にタッチすると、現在再生中のトラックの始めから再生されます。▶にタッチすると、次のトラックの始めから再生されます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラックを飛ばすことができます。

#### メモ

- ・ジョイスティックを左右に操作してトラックを選択することもできます。操作した回数分のトラックを飛ばすこともできます。

## いろいろな操作をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューで行います。

## FUNCTIONメニューを表示する

### 1 A.MENUにタッチする

メインメニューが表示されます。

### 2 FUNCTIONにタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



#### メモ

- ・ **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・ **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・ 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、マルチCD全体を繰り返す「MULTI-CD REPEAT」と再生中のトラック（曲）を繰り返す「TRACK REPEAT」、再生中のディスク全体を繰り返す「DISC REPEAT」があります。

- 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**REPEAT**の順にタッチする
- 2 **◀▶**にタッチして、リピート範囲を選択する



タッチするたびに以下のように切り替わります。

MULTI-CD REPEAT → TRACK REPEAT  
→ DISC REPEAT

### メモ

- トラックリピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行うと、ディスクリピート再生になります。

## ランダム再生する (RANDOM)

選択したリピート範囲で、曲を順不同（ランダム）に再生します。

- 1 リピート範囲を選択する (→前項)  
選択したリピート範囲でランダム再生を行います。
- 2 **BACK**、**RANDOM**の順にタッチする

## 3 **ON ▲**にタッチする



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生をやめるときは、**OFF ▼**にタッチします。

### メモ

- ランダム再生をONにすると、ソース画面に“RANDOM”が表示されます。
- リピート範囲で「TRACK REPEAT」を選択しているときにランダム再生をONにすると、リピート範囲が「DISC REPEAT」に切り換わり、ランダム再生します。

## 再生を一時停止する (PAUSE)

- 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**PAUSE**の順にタッチする
- 2 **ON ▲**にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、**OFF ▼**にタッチします。

## スキャン再生する (SCAN)

再生中のディスクの、曲の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生します(トラックスキャン)。またマガジン内すべてのディスクの、1曲目の始めの部分(約10秒間)だけを次々に再生することもできます(ディスクスキャン)。

### 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

リピート範囲で「DISC REPEAT」を選択します。再生中のディスクの全曲を約10秒ずつ再生できます。

### 聞きたいディスクをさがすとき (ディスクスキャン再生)

リピート範囲で「MULTI-CD REPEAT」を選択します。マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

## 1 リピート範囲を選択する (→P75)

## 2 **BACK**、**SCAN** の順にタッチする

## 3 **ON ▲** にタッチする



スキャン再生が始まります。

## 4 聞きたい曲(ディスク)が再生されたら、**OFF ▼** にタッチする

## メモ

- スキャン再生を始めた曲(ディスク)まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- リピート範囲で「TRACK REPEAT」を選択しているときにスキャン再生をONにすると、リピート範囲が「DISC REPEAT」に切り換わり、スキャン再生します。

## 音を聞きやすくする (COMPRESSION)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。COMP/DBE機能付きのマルチCDプレーヤーを接続したときに操作できます。

### COMPについて

COMPとは、「Compression」の略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。小さな音が聞き取りにくいときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、「Dynamic Bass Emphasis」の略で、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。車内で低音域が不足したように聞こえるときにお使いになると便利です。

## 1 **A.MENU**、**FUNCTION**、**COMPRESSION** の順にタッチする

## 2 ▾ にタッチして、設定を選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

OFF → COMP1 → COMP2 → OFF → DBE1 → DBE2 → OFF

### メモ

- COMP、DBEともに、1より2のほうが、効果が大きくなります。
- COMP/DBE機能のないマルチCDを接続したときは、“NO COMPRESSION”が表示されて、操作ができません。

## リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

CD TEXTに対応しているマルチCDでCD TEXTを再生しているときに、トラックタイトル(曲名)のリストを表示して、聞きたい曲を選択できます。

### 1 A.MENU、FUNCTION、TRACK LISTの順にタッチする

トラック名のリストが表示されます。

### 2 聞きたいトラック名にタッチする



選んだトラックの再生が始まります。リストは一度に6つのトラック名を表示します。

### メモ

- 再生中のディスクに6トラック以上収録されている場合、**NEXT**にタッチすると、次の6トラックが表示が切り換わります。また、**PREV**にタッチすると、前の6トラックが表示が切り換わります。

## タイトルを入力する (TITLE EDIT)

CDにタイトルを入力できます。入力したタイトルを表示することができます。

- タイトルは20文字まで入力できます。(「CDX-P1250」、「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、入力できる文字数が10文字までになります。)
- タイトルの登録はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDのタイトルは消えません。
- タイトルは、ITS (→P78) と合わせてCD100枚分の登録ができます。100枚を超えたときは、いちばん古いCDのタイトルが消去されて、新しいCDが登録されます。
- CD TEXTに対応しているマルチCD「CDX-P670」などでCD TEXTを再生しているときは、タイトルは入力できません。(CD TEXTに収録されているCDタイトルは変更できません。)

### 1 タイトルを入力したいディスクを再生する

### 2 A.MENU、FUNCTION、NEXTの順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

### 3 TITLE EDITにタッチする

タイトル入力画面が表示されます。以降は、CDの『タイトルを入力する (TITLE EDIT)』(→P50)の手順でタイトルを入力します。

## CD TEXTの情報を表示する

本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。CD TEXT (→P11) に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

### ■タイトル表示を切り換える

CD TEXTに対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) でCD TEXTを再生しているときに、ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで一度に表示させることができます。また、タイトルをスクロールさせることもできます。

### 1 CD TEXT再生中に、**DISP**にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST)  
 → ディスクタイトル (Disc Title) →  
 ディスクアーティストネーム (Disc Artist)  
 → トラックタイトル (Track Title) →  
 トラックアーティストネーム (Track Artist)

#### メモ

- トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO ARTIST” などが表示されます。
- **DISP** に長く (約2秒) タッチすると、タイトルをスクロールさせることができます。

## ITSを使う

あらかじめ聞きたい曲をITSで指定すると、指定した曲だけを再生できます。

### ITSについて

- ITSとは、「Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション)」の略です。ITSは、聞きたい曲を指定しておき、それを再生する機能です。(『ITSリストから再生する (ITS PLAY)』 (→P79))
- 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの曲の指定は解除されません。
- CD1枚につき、99曲まで指定できます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、指定できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル (『タイトルを入力する (TITLE EDIT)』 (→P77)) と合わせて、CD100枚分まで指定できます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古い指定内容が解除されて、新しいCDでの曲の指定が登録されます。

## ITSリストを作る (ITS MEMORY)

**1** ITSに指定したい曲の入ったディスクを再生する

**2** **A.MENU**、**FUNCTION**、**NEXT**の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

**3** **ITS MEMORY**にタッチする

**4** ◀/▶にタッチして、指定したい曲を選択する



**5** **MEMORY ▲**にタッチして、曲を指定する

指定した曲がリストに入ります。

**6** **ESC**にタッチする

ソース画面に戻ります。

## ITSリストから再生する (ITS PLAY)

選択した範囲（リピート範囲）で、ITS指定した曲だけを再生します。

**1** リピートにして、リピート範囲を選択しておく（→P75）

**2** **BACK**、**NEXT**の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

**3** **ITS PLAY**にタッチする

**4** **ON ▲**にタッチする



選択した範囲内で、ITS再生が始まります。

ITS再生をやめるときは、**OFF ▼**にタッチします。

### メモ

- 手順1で選択したリピート範囲内に指定した曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

## ITSリストから1曲ずつ曲の指定を解除する

**1** ITS指定を解除したい曲の入ったディスクをITS再生する(→P79)

**2** **A.MENU**、**FUNCTION**、**NEXT**の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

**3** **ITS MEMORY**にタッチする

**4** ◀/▶にタッチして、指定を解除したい曲を選択する



**5** **CLEAR ▼**にタッチして、曲の指定を解除する

選択した曲の指定が解除されます。

**6** **ESC**にタッチする

ソース画面に戻ります。

### メモ

- 現在のリピート範囲内に指定された曲がなくなった場合、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

## ITSリストからディスクごとに曲の指定を解除する

**1** ITS再生をOFF(→P79)にして、曲の指定を解除したいディスクを再生する

**2** **A.MENU**、**FUNCTION**、**NEXT**の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

**3** **ITS MEMORY**にタッチする

**4** **CLEAR ▼**にタッチして、曲の指定を解除する

選択したディスク内でITS指定された曲が全て指定解除されます。

**5** **ESC**にタッチする

ソース画面に戻ります。

# DVDプレーヤーを操作する

## ご注意

・停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、DVDプレーヤーの映像を見ることができます。走行中は安全のためDVDプレーヤーの映像は表示されません。(音声は聞くことができます。)

## ■ DVDプレーヤーについて

別売のDVDプレーヤーの基本的な操作方法を説明しています。DVDプレーヤーの機能について、詳しくは接続したDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーを見るためには、『AV 入力を設定する (AV INPUT)』(→P101)で「S-DVD」に設定します。

## DVDプレーヤーの操作について

ここでは、本機のリモコンの操作モードがAVHモードの場合の操作を説明しています。DVDやビデオCD特有の機能は、リモコンの操作モードをDVDモードにして、リモコンコードを正しく設定すると、本機のリモコンでも操作できます。(→P115)

## DVDプレーヤー (S-DVD) に切り換える

### 1 ソースをDVDプレーヤー(S-DVD)に切り換える (→P20)

ソースを切り換えると、情報プレートが約8秒間表示されます。

マルチDVDを接続した場合、ディスクリストも表示されます。ディスクリストは、前回表示していた場合に表示されます。

## ■ DVDプレーヤーの電源をON/OFFする

リモコンの操作モードをDVDモードにして、リモコンコードを正しく設定すると、接続したDVDプレーヤーの電源を操作することができます。(→P115)

### 1 [REAR.S] ボタンを押す

押すたびに、接続されたDVDプレーヤーの電源をON/OFFできます。

## タッチキーを表示する

### 1 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。



## メモ

- ・約30秒間操作をしなかった場合、タッチキーは自動的に消えます。

## ディスクを選ぶ (マルチDVDの場合)

### ■ ディスクタイトルリストから 直接選ぶ

#### 1 **1** ~ **6** の中から聞きたいディスクにタッチする

選んだディスクを再生します。

#### メモ

- ディスクリストは、**DISP**にタッチするたびに表示/非表示が切り換わります。
- 数字ボタン**1**~**6**を押してディスクを選択することもできます。

### ■ ディスクを切り換える

#### 1 **▲** / **▼** にタッチして、ディスクを切り換える

#### メモ

- ジョイスティックを上下に操作して切り換えることもできます。

## 早戻し/早送りする

#### 1 **◀** / **▶** にタッチし続ける

タッチしている間、早戻し/早送りができます。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作して早戻し/早送りすることもできます。左右に操作している間、早戻し/早送りができます。

## トラック (チャプター) を選ぶ (頭出し)

#### 1 **◀** / **▶** にタッチする

**◀** にタッチすると、現在再生中のトラック (チャプター) の始めから再生されます。**▶** にタッチすると、次のトラック (チャプター) の始めから再生されます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラック (チャプター) を飛ばすことができます。

#### メモ

- ジョイスティックを左右に操作してトラック (チャプター) を選択することもできます。操作した回数分のトラック (チャプター) を飛ばすこともできます。

## いろいろな操作をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューで行います。

接続したプレーヤーおよびディスクの種類によっては、操作できない機能もあります。

## FUNCTIONメニューを表示する

#### 1 **A.MENU** にタッチする

メインメニューが表示されます。

## 2 FUNCTION にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## リピート再生する (REPEAT)

リピート再生は、繰り返し再生する範囲を選択できます。

ビデオCDのPBC再生中は、リピート範囲の切り換えはできません。

### 1 A.MENU、FUNCTION、REPEAT の順にタッチする

### 2 ◀▶ にタッチして、リピート範囲を選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

## DVDビデオ

CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT  
→ DISC REPEAT

## ビデオCD、CD

TRACK REPEAT → DISC REPEAT

### メモ

- トラックリピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行うと、ディスクリピート再生になります。

## ランダム再生する (RANDOM)

CDを再生しているときだけ、曲を順不同 (ランダム) に再生できます。

### 1 A.MENU、FUNCTION、RANDOM の順にタッチする

### 2 ON ▲ にタッチする



ランダム再生が始まります。  
ランダム再生をやめるときは、**OFF ▼** にタッチします。

### メモ

- ランダム再生をONにすると、ソース画面に「RANDOM」が表示されます。
- リピート範囲で「TRACK REPEAT」を選択しているときにランダム再生をONにすると、リピート範囲が「DISC REPEAT」に切り換わり、ランダム再生します。

## 再生を一時停止する (PAUSE)

再生を一時停止します。

**1** **A.MENU**、**FUNCTION**、**PAUSE**の順にタッチする

**2** **ON ▲**にタッチする



再生が一時停止します。  
一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、**OFF ▼**にタッチします。

## スキャン再生する (SCAN)

CDを再生しているときに、曲の始めの部分（約10秒間）だけを次々に再生できます。

**1** **A.MENU**、**FUNCTION**、**SCAN**の順にタッチする

**2** **ON ▲**にタッチする



スキャン再生が始まります。

**3** 聞きたい曲が再生されたら、**OFF ▼**にタッチする

### メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## ITS再生について

マルチDVDプレーヤーを接続した場合、ITS再生もできます。（マルチDVDプレーヤーのITS再生は、再生しているCD内でのみ行われます。）

操作方法は、マルチCDと同様です。詳しくはマルチCDの『ITSを使う』（→P78）をご覧ください。

## CDのタイトルを入力する

CDにタイトルを10文字まで入力できます。また、入力したタイトルを表示することができます。

操作方法は、マルチCDと同様です。詳しくはマルチCDの『タイトルを入力する (TITLE EDIT)』（→P77）をご覧ください。

# DSPで音を調節する

## DSP調節のポイント

次の順に設定や調節することで、きめ細かくお好みの音場を創り出すことができます。

- ① リスニングポジションを選ぶ  
(→P88)

↓

- ② クロスオーバー周波数を設定する  
(→P92)

↓

- ③ オートイコライジング&タイムアライメント (→P95)

## AUDIOメニューを表示する

**1 A.MENU** にタッチする  
メインメニューが表示されます。

**2 AUDIO** にタッチする  
AUDIOメニューが表示されます。



### メモ

- ・ソースがOFFのときは、AUDIOメニューは操作できません。
- ・**ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・**BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。
- ・96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクを再生しているときは、AUDIOメニューは操作できません。また、イコライザーカーブやリスニングポジション、オートイコライザー、オートタイムアライメントの設定は解除されます。
- ・96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクを再生しているときは、フロントスピーカーだけから音声が出力されます。
- ・ラジオのFMを聞いているときは、SLAモードは選択できません。

## イコライザーを使う

あらかじめ用意されているイコライザーカーブの中から、お好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

### CUSTOM1について

「CUSTOM1」には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(EXT1とEXT2は、同じ設定になります。)

### CUSTOM2~4について

「CUSTOM2~4」は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節できます。

### FLATについて

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認できます。

## 1 [EQ] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、イコライザーカーブが以下のように切り換わります。

PWRFUL (POWERFUL) →  
 NATURAL → VOCAL → FLAT →  
 CUSTOM1 → CUSTOM2 →  
 CUSTOM3 → CUSTOM4 →  
 S BASS (SUPER BASS)

## ■3バンドパラメトリックイコライザーを調節する

「CUSTOM1」～「CUSTOM4」は、フロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に調節できます。各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り換えができます。

### センタースピーカ-の調節について

センタースピーカ-は、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカ-です。このため、他のスピーカ-と同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除くすべてのスピーカ-のバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカ-を全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。

### 中心周波数について

各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選択できます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り換えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。

## 1 [A.MENU]、[AUDIO]、[PARAMETRIC EQ]の順にタッチする

イコライザー調節画面が表示されます。



## 2 **C.EQ**にタッチする

タッチするたびにイコライザーカーブが以下のように切り換わります。

POWERFUL → NATURAL →  
VOCAL → FLAT → CUSTOM1 →  
CUSTOM2 → CUSTOM3 →  
CUSTOM4 → SUPER BASS

## 3 **POS**にタッチする

タッチするたびにスピーカーが以下のように切り換わります。

FRONT → REAR → CENTER

- ・スピーカー設定モード (→P91) で、「OFF」に設定したスピーカーには切り換わりません。

## 4 **BAND**にタッチする

タッチするたびにバンドが以下のように切り換わります。

LOW (低音) → MID (中音) →  
HIGH (高音)

## 5 **◀/▶**にタッチする

中心周波数は以下の中から選べます。

40、50、63、80、100、125、  
160、200、250、315、400、  
500、630、800、1k、1.25k、  
1.6k、2k、2.5k、3.15k、4k、5k、  
6.3k、8k、10k、12.5k (Hz)

## 6 **▲/▼**にタッチする

レベルは、-12~+12の範囲で調節できます。

## 7 **Q.Fac**にタッチする

タッチするたびにカーブの傾きが以下のように切り換わります。

WIDE (緩やかな傾き) → NARROW  
(急な傾き)

## 8 **ESC**にタッチする

ソース画面に戻ります。

## オートイコライザーをON/ OFFする

Auto EQ&TA (→P96) で作成した  
オートイコライザーカーブをON/OFF  
できます。

### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、 **AUTO EQ**の順にタッチする

### 2 **ON ▲**にタッチする



オートイコライザーカーブをOFFにする  
ときは、**OFF ▼**にタッチします。

## リスニングポジションを選ぶ

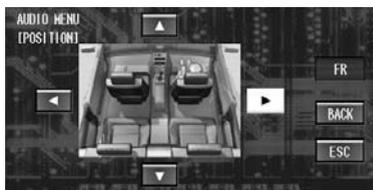
乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を設定することで、音像の定位を適切に補正できます。

### リスニングポジションセレクターについて

リスニングポジションセレクターは、座席位置や人数に合わせて、各スピーカーから出力される音の遅延時間とレベルを自動的に調節する機能です。

#### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、**POSITION**の順にタッチする

#### 2 **▲**/**▼**/**◀**/**▶**にタッチして、リスニングポジションを選択する



- ▶** (FR) 右ハンドル車に運転者のみがいるとき
- ◀** (FL) 左ハンドル車に運転者のみがいるとき
- ▲** (FRONT) 同乗者が助手席にいるとき
- ▼** (ALL) 同乗者が後部座席にいるとき

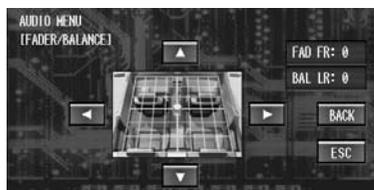
同じタッチキーにタッチするたびに、ON/OFFが切り換わります。

## 前後左右の音量バランスを調節する

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節します。

#### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、**FADER/BALANCE**の順にタッチする

#### 2 **▲**/**▼**/**◀**/**▶**にタッチして、バランスを調整する



- ▲** 前を強めるとき
- ▼** 後ろを強めるとき

前後のバランスは、FAD F：25～FAD R：25の範囲で調節できます。

- ◀** 左を強めるとき
- ▶** 右を強めるとき

左右のバランスは、BAL L：25～BAL R：25の範囲で調節できます。

## 各ソースの音量の違いを そろえる

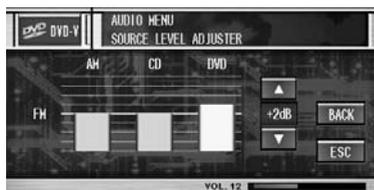
ソースを切り換えたときに音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量のレベルを調節します。

**1** FMを受信し、FMの音量を確認する (→P45)

**2** 調節するソースに切り換える (→P20)

**3** **A.MENU**、**AUDIO**、**SLA**の順にタッチする

**4** ▲/▼にタッチして、レベルを調整する



レベルは-8dB~+8dBの範囲で調節できます。

### メモ

- SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードは選択できません。
- AM、テレビ、DVD、CD、EXT (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器)、N-DVD&MSV(ナビゲーションユニット)のそれぞれの音量差を調節できます。なお、ビデオCDとCD、EXT1とEXT2、およびAMと交通情報は同じ設定になります。

## オリジナルの音質で聞く

各種オーディオの設定を一時的に無効にできます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

**1** **A.MENU**、**AUDIO**、**Digital Direct**の順にタッチする

**2** **ON ▲**にタッチする



ダイレクトをOFFにするときは、**OFF ▼**にタッチします。

### メモ

- ダイレクトがONの間は、音量調節 (VOLUME (◀/▶) ボタンと【ATT】ボタン) のみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。

## ドルビープロロジックIIを使う

ドルビープロロジックIIは、2チャンネルの音声を5チャンネルで全帯域再生します。オリジナルの録音の空間情報から、より立体的なサラウンド空間を作り出す先進的な機能です。従来のドルビープロロジックに比べ、音の定位がより鮮明になり、音の移動も自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しめます。

## ■ドルビープロロジックⅡのモードについて

ドルビープロロジックⅡでは、以下の3つのモードを選択できます。

### ムービー (MOVIE)

映画やTVドラマなどのステレオ音声を、5.1チャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

### ミュージック (MUSIC)

広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。

次の3つのパラメータを調整することで、好みに合わせた空間を再現することができます。

- PANORAMA (パノラマ) :  
フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。
- DIMENSION (ディメンション) :  
音場の位置をフロント側、リア側に細かく調整します。-3~+3の間で調整します。+はフロント側に、-はリア(サラウンド)側に音を移動します。
- CENTER WIDTH (センター幅) :  
センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーにどのように振り分けるかを0~7の間で設定します。推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0は、センタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は、通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。

### マトリクス (MATRIX)

方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサラウンド再生になります。FMやTVなどのステレオ放送で、受信状態が不安定な場合に向いています。

## 1 A.MENU、AUDIO、Dolby PL Ⅱの順にタッチする

ドルビープロロジックⅡ機能の選択項目が表示されます。

## 2 希望のモードにタッチする



- **MUSIC ADJUST** は、「MUSIC」を選択したときだけ操作できます。
- スピーカー設定モードで、リアスピーカーとセンタースピーカーの両方を「OFF」に設定すると、ドルビープロロジックⅡは操作できません。

## ■ミュージックモードを調節する

### 1 A.MENU、AUDIO、Dolby PL Ⅱの順にタッチする

### 2 MUSIC、MUSIC ADJUSTの順にタッチする

MUSICモードの調節項目が表示されます。

### 3 調節したい項目にタッチする

### 4 ◀/▶にタッチして、選択した項目を調節する

項目	設定/調節範囲
<b>PANORAMA</b>	ON/OFF
<b>DIMENSION</b>	-3~+3
<b>CENTER WIDTH</b>	0~7

## 接続したスピーカーを設定する

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）の設定ができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させたり、より再生に適したスピーカーから低音を出力させることができます。

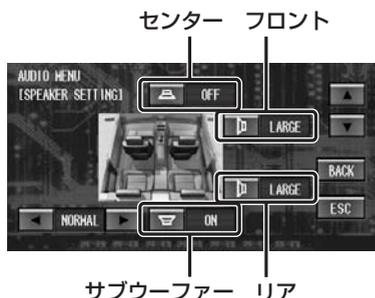
### スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100 Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は、「LARGE」に、再生不可能な場合は、「SMALL」に設定してください。

## 1 A.MENU、AUDIO、Sound Setting の順にタッチする

サウンドセッティングメニューが表示されます。

## 2 SP SET にタッチする



## 3 設定したいスピーカー (A) にタッチする

選択したスピーカーのタッチキーが水色になります。



## 4 ▲/▼ にタッチして、スピーカーの有無やサイズを設定する

各スピーカーの設定は、次の中から選択できます。

スピーカーの種類	設定
センター	OFF/SMALL/LARGE
フロント	SMALL/LARGE
リア	OFF/SMALL/LARGE
サブウーファー	OFF/ON

サブウーファーをONにすると、サブウーファーの位相切り換え項目が表示されます。

### メモ

- 接続していないスピーカーの設定は、必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。

## ■サブウーファースの位相を切り換える

サブウーファーからの低音域の出力を調節しても低音域が良く聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り換えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくできます。

### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、**Sound Setting** の順にタッチする

### 2 **SP SET**、サブウーファー ( ) の順にタッチする

サブウーファースのタッチキーが水色になります。

### 3 にタッチして、サブウーファースをONにする

サブウーファースをONにすると、サブウーファースの位相切り換え項目が表示されます。

サブウーファースをOFFにするには、 にタッチします。

### 4 / にタッチして、サブウーファースの位相を切り換える

NORMAL (正相) と REVERSE (逆相) から選べます。

## クロスオーバー周波数を設定する

クロスオーバー周波数は、サブウーファースやスピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファースからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また、「SMALL」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、カットされた低い音域はサブウーファースから出力されるようになります。

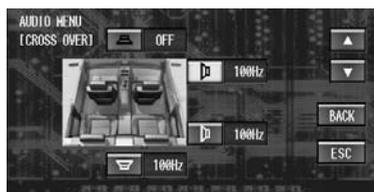
サブウーファースを接続していない場合、カットされた低い音域は「LARGE」に設定したスピーカー (フロントまたはリア) から出力されるようになります。

### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、**Sound Setting** の順にタッチする

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 **Cross Over** にタッチする

### 3 設定したいスピーカー ( ) にタッチする



選択したスピーカーのタッチキーが水色になります。

### 4 / にタッチして、クロスオーバー周波数を設定する

63、80、100、125、160、200 (Hz) から選べます。

#### メモ

- サブウーファースのLPFと、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーのHPFのクロスオーバー周波数を設定します。サブウーファースが「OFF」で、他のスピーカーのサイズが「LARGE」や「OFF」に設定されている場合、クロスオーバー周波数の設定は無効になります。
- スピーカー設定モード (→P91) で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

## スピーカー出力レベルを調節する

テストトーンで調節した各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節できます。

### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、**Sound Setting**の順にタッチする

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 **SP LEVEL**にタッチする

### 3 設定したいスピーカー ( ) にタッチする



選択したスピーカーのタッチキーが水色になります。

### 4 **▲**/**▼**にタッチして、レベルを調節する

レベルは-10~+10の範囲で調節できます。

#### メモ

- このモードで調節した出力レベルは、テストトーンモード (→次項) で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定モード (→P91) で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

## テストトーンでスピーカーレベルを調節する

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

### 1 **A.MENU**、**AUDIO**、**Sound Setting**の順にタッチする

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 **Test Tone**にタッチする

約2秒ずつ、次の順で各スピーカーからテストトーンが出力されます。出力中のスピーカーに水色の枠が点灯します。

- フロントスピーカー (左) →
- センタースピーカー →
- フロントスピーカー (右) →
- リアスピーカー (右) →
- リアスピーカー (左) →
- サブウーファー

### 3 **▲**/**▼**にタッチして、レベルを調節する

レベルは-10~+10の範囲で調節できます。



## 4 [ESC]にタッチする

ソース画面に戻ります。

### メモ

- このモードで調節した出力レベルは、スピーカーレベル調節モード(→前項)で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定モード(→P91)で「OFF」に設定したスピーカーには切り換わりません。
- レベルを調節している間、テストトーンは次のスピーカーには切り換わりません。

## タイムアライメントを使う

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節できます。

### 1 A.MENU、AUDIO、Sound Setting の順にタッチする

サウンドセッティングメニューが表示されます。

### 2 Time Alignment にタッチする

### 3 希望のタイムアライメントにタッチする

<b>INITIAL</b>	初期設定(ご購入時の設定)
<b>AUTO TA</b>	Auto EQ&TAで作成した設定(→P96)
<b>CUSTOM</b>	お好みに合わせて調節した設定
<b>OFF</b>	タイムアライメントをOFFにする
<b>ADJUSTMENT</b>	「CUSTOM」を作成する

### メモ

- Auto EQ&TAを行っていないときは、「AUTO TA」は選択できません。
- リスニングポジションの設定で、FLかFRを選んでいないと、「ADJUSTMENT」は選択できません。

## ■ タイムアライメントを調節する

### 1 調節したいタイムアライメントを選択する

### 2 ADJUSTMENT にタッチする

タイムアライメントの調節画面が表示されます。

### 3 設定したいスピーカー(FL)にタッチする



選択したスピーカーのタッチキーが水色になります。

### 4 ▲/▼ にタッチして、距離を設定する

距離は0.0 cm~500.0 cmの範囲で調節できます

### 5 [ESC]にタッチする

ソース画面に戻ります。

### メモ

- スピーカー設定モード(→P91)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。

## オートイコライジング& タイムアライメント

車室内の音響特性を計測して、それを最適に自動補正することができます。

### オートイコライジング&タイムアライメントを行う前に

Auto EQ&TA（オートイコライジング&タイムアライメント）を行う前に必ずお読みください。



**警告**

#### 走行中にAuto EQ&TAを行わない



自動車が走行中にAuto EQ&TAを行わないでください。Auto EQ&TA機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

#### スピーカー破損防止について

次の状態でAuto EQ&TAを行うと、スピーカーが破損するおそれがあります。Auto EQ&TAを行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合  
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

### Auto EQ&TA機能について

車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機のAuto EQ&TA機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、Auto EQ&TAにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。) また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整します。

#### Auto EQ&TAを行う前にお読みください

- Auto EQ&TAは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからAuto EQ&TAを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- Auto EQ&TAは、必ず付属の音響特性測定用マイクを使用して行ってください。付属の音響特性測定用マイク以外のマイクでは、Auto EQ&TAが実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、Auto EQ&TAが実行できません。また、接続されていないスピーカーが「LARGE」や「SMALL」に設定されている場合は、エラーとなります。

- ・入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていますと、Auto EQ&TAが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。
- ・ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、クロスオーバー周波数を最も高い周波数に設定してください。
- ・Auto EQ&TA測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
  - －車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
  - －パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- ・Auto EQ&TAを行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
  - －前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
  - －イコライザーカーブは、フラット（FLAT）になります。
  - －リスニングポジションセレクターは、FRに設定されます。（ただし、FLに設定していたときだけは、FLのままになります。）
  - －フロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調節されます。

### Auto EQ&TA の調節内容について

- ・一度Auto EQ&TAを行ったあとに、再度Auto EQ&TAを行うと、前のAuto EQ&TAの調節内容は消去されます。

## オートイコライジング&タイムアライメント(Auto EQ&TA)を行う

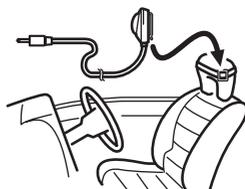
車室内の音響特性を計測して、最適な状態に自動補正することができます。

### 1 車の環境を整える

- ・静かな所に車を停車します。
- ・ドア、窓、サンルーフなどを閉めます。
- ・車のエンジンを停止します。

### 2 音響特性測定用マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属の音響特性測定用マイクを前向きに固定します。



#### ご注意

- ・音響特性測定用マイクの取り付け位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がるおそれがあります。音響特性測定用マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

### 3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

#### ご注意

- ・車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってAuto EQ&TAが実行できないことがあります。

## 4 【ソース (SRC)】 ボタンを押して、ソースをONにする

## 5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクター (→ P88) を使って、乗車位置を音響特性測定用マイクをセットした座席に設定します。

乗車位置をFRまたはFL以外に設定したときは、Auto EQ&TAを始めると、強制的にFRに再設定されます。

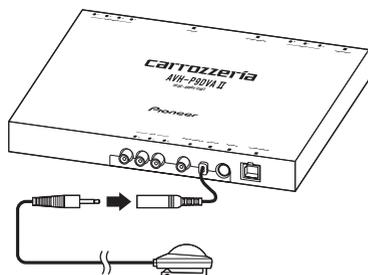
## 6 【ソース (SRC)】 ボタンを長く (約1秒) 押して、ソースをOFFにする

## 7 [EQ] ボタンを長く (約2秒) 押す



## 8 音響特性測定用マイクをハイダウェユニットに接続する

付属の音響特性測定用マイクを、音響特性測定用マイク入力端子に接続します。



## 9 START にタッチする



中止するときは、**STOP** にタッチします。

## 10 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、Auto EQ&TAが始まります。

約9分すると自動的に終了します。



Auto EQ&TAが終わったら、セットした音響特性測定用マイクを取り外し、**ESC** にタッチしてAuto EQ&TAモードを解除します。(ソースがOFFになります。)

### メモ

- Auto EQ&TAを途中でやめたいときは、**BACK** または **ESC** にタッチします。
- 音響特性測定用マイクをセットする位置により、Auto EQ&TAの調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- 音響特性測定用マイクは、グローブボックスなどに入れて、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因となります。

# 各種の設定

本機には、ソースOFFのときに操作できる初期設定「INITIAL」と、ソースのON/OFFにかかわらず操作できる基本設定「SETUP」があります。

## 初期設定

### 初期設定メニューを表示する

- 1 **【ソース (SRC)】 ボタンを長く (約1秒) 押して、ソースをOFFにする**

情報プレートに“OFF”が表示されます。

- 2 **A.MENUにタッチする**

メインメニューが表示されます。

- 3 **INITIALにタッチする**

初期設定メニューが表示されます。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソースOFFに戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

## 外部機器の音声を聞く (AUX)

本機にポータブル機器やVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力を装備したポータブル機器やVTRを、外部機器として本機に接続できます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1 **初期設定メニューを表示する (→前項)**

- 2 **AUXにタッチする**

- 3 **ON ▲にタッチする**



外部機器が「AUX」ソースとして設定されます。

AUXをOFFにするには、**OFF ▼** にタッチします。

- 4 **ソースをAUXに切り換える (→P20)**

## ■ 外部機器の名称を入力する

外部機器の名称を10文字まで入力できます。

**1 ソースをAUXに切り換える (→P20)**

**2 A.MENU、FUNCTION、NAME EDITの順にタッチする**

名称の入力画面が表示されます。  
以降は、CDの『タイトルを入力する (TITLE EDIT)』(→P50)の手順で、名称を入力します。

## 音の歪みを補正する (DIGITAL ATT)

イコライザーカーブの調節 (→P86) による音の歪みを抑えることができます。

### デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの調節でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調節で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を「LOW」に切り換えてください。

通常は、音質の優れた「HIGH」でご利用ください。

**1 初期設定メニューを表示する (→P98)**

**2 DIGITAL ATTにタッチする**

**3 希望の設定にタッチする**



## ミュート/アッテネートを設定する (TEL/GUIDE)

ミュート機能のあるパイオニア製ナビゲーションシステムと本機を接続すると、その製品からミュート信号を受け取っている間だけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。

**1 初期設定メニューを表示する (→P98)**

**2 TEL/GUIDEにタッチする**

**3 希望の設定にタッチする**



**MIXING** 音量変化なし (ミキシングします)

**ATT -10dB** もとの音量の1/3

**ATT -20dB** もとの音量の1/10

**MUTE** 音量「0」

## ディスクの自動再生を設定する (DVD AUTO PLAY)

本機にディスクが挿入されたとき、自動的にソースを内蔵プレーヤーに切り換えて、再生を開始させることができます。

### 1 初期設定メニューを表示する (→P98)

### 2 DVD AUTO PLAY にタッチする

### 3 ON ▲ にタッチする



本機にディスクが挿入されたとき、自動再生するように設定されます。自動再生をOFFにするには、**OFF ▼** にタッチします。

## 夜間のサブディスプレイの明るさを切り換える (SUB DISPLAY DIMMER)

車のヘッドライトに連動して、サブディスプレイを暗くできます。夜間の運転中など、周囲が暗いときにサブディスプレイのまぶしさを抑えることができます。

### 1 初期設定メニューを表示する (→P98)

### 2 SUB DISPLAY DIMMER にタッチする

### 3 ON ▲ にタッチする



車のライトを点灯すると、サブディスプレイが暗くなるように設定されます。サブディスプレイのディマーをOFFにするには、**OFF ▼** にタッチします。

## オーディオの設定をリセットする (AUDIO RESET)

オーディオの設定をリセットして、出荷時の設定に戻します。

### 1 初期設定メニューを表示する (→P98)

### 2 AUDIO RESET にタッチする

### 3 RESET にタッチする

リセットの確認画面が表示されます。



### 4 RESET にタッチする

オーディオの設定がリセットされます。リセットを中止したいときは、**CANCEL** にタッチします。

#### メモ

- 音量の設定は出荷時の状態には戻りません。

## 基本設定

### 基本設定メニューを表示する

#### 1 **A.MENU** にタッチする

メインメニューが表示されます。

#### 2 **SETUP** にタッチする

基本設定メニューが表示されます。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

### AV入力を設定する (AV INPUT)

ビデオやDVDプレーヤーなどの外部機器を本機に接続した場合、機器に合った設定に切り換えます。

#### 1 **A.MENU**、**SETUP**、**AV INPUT** の順にタッチする

#### 2 希望の設定にタッチする



**OFF** AV入力に何も接続しない場合

**VIDEO** ビデオ機器を接続した場合（ソースを「AV」にしたときに、ビデオ機器の映像を見ることができます。）

**S-DVD** DVDプレーヤーをRCAコードで接続した場合（ソースを「S-DVD」にしたときに、DVDプレーヤーの映像を見ることができます。）

**EXT-VIDEO** 映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合（ソースを「EXT」にしたときに、エクスターナルユニットの映像を見ることができます。）

## バックカメラの接続を設定する (BACK UP CAMERA)

別売のバックカメラユニット「ND-BC1」を接続したときの設定をします。車のシフトレバーをR（リバース）の位置にしたとき、バックカメラの映像をモニターに映すことができます。

### メモ

- 市販のバックカメラをお使いになる場合、鏡像タイプをおすすめします。

## 1 A.MENU、SETUP、BACK UP CAMERA の順にタッチする

## 2 ON ▲ にタッチする



車のシフトレバーをR（リバース）の位置にしたときに、バックカメラの映像がモニターに表示されるように設定されます。

バックカメラを使用しない場合は、**OFF ▼** にタッチします。

## 3 ◀ / ▶ にタッチして、極性を選択する

タッチするするたびに以下のように切り換わります。

### BATTERY→GND

項目	設定内容
「BATTERY」	車のシフトレバーをR（リバース）に入れたときにバック信号の電圧が「HIGH」になる場合
「GND」	車のシフトレバーをR（リバース）に入れたときにバック信号の電圧が「LOW」になる場合

### メモ

- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号入力線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）に入れても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

## ■バックカメラの映像を解除する

バックカメラの映像が表示されている（シフトレバーをR（リバース）の位置にしている）ときに、バックカメラの映像を解除できます。

## 1 [V.ADJ] ボタンを押す

ナビゲーション起動時は、ナビゲーションの映像に切り換わります。

## 時計を設定する (CLOCK ADJUST)

時計を合わせることができます。

### 1 **A.MENU**、**SETUP**、**CLOCK ADJUST** の順にタッチする

時刻設定画面が表示されます。



### 2 **▲**/**▼**/**◀**/**▶** にタッチして、時刻を設定する

**◀**/**▶** 時と分を選択するとき

**▲**/**▼** 時刻を調節するとき

#### メモ

- **JUST** にタッチすると、時報に合わせることができます。
- ソースがOFFのとき、時刻が表示されます。
- エンタテインメントクロック (→P112) で時刻を表示できます。
- モニター収納時に、一時可倒ボタンを押すと、サブディスプレイに時刻を8秒間表示できます。

## モニターの自動開閉を設定する (AUTO FLAP)

車のエンジンスイッチをACC (またはON) やOFFにしたとき、モニターが自動的に開閉するかどうかを設定します。

### 1 **A.MENU**、**SETUP**、**AUTO FLAP** の順にタッチする

### 2 希望の設定にタッチする



**AUTO** 自動開閉

**MANUAL** 手動開閉

#### メモ

- シフトレバーなどにモニターが当たってしまう場合は、「MANUAL」に設定し、【OPEN/CLOSE】ボタンを押して、モニターを開閉します。

## モニターのセットバックを設定する (FLAP SET BACK)

立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。

### 1 **A.MENU**、**SETUP**、**FLAP SET BACK** の順にタッチする

### 2 **ON ▲** にタッチする



設定を切り換えると同時にモニターが動きます。

セットバックをOFFにするには、**OFF ▼** にタッチします。

## リアモニターの表示を設定する (REAR MODE)

リアモニター接続時に、リアモニターにフロントモニターと常に同じソースを表示させるか、リアモニターはフロントモニターとは別にお好みのソースを表示させるかを設定できます。

### ナビゲーション（「AVIC-H990」 など）と組み合わせた場合

リアモニターの表示設定をフロントモニター（本機）と同じソースにしている場合、リアモニターにナビゲーションの映像が表示されることがあります。具体的には、「AVIC-H990」がミュージックサーバー（CD録音時を含む）で、フロントモニターの画面がナビゲーションの映像のときに、リアモニターにナビゲーションの映像が表示されます。

#### 「SEPARATE」設定時

→ 上記のときに、リアモニターの映像を「フロント映像（F.SOURCE）」に切り換える（→次項）と、リアモニターにナビゲーションの映像が表示されます。

## 1 A.MENU、SETUP、 REAR MODEの順にタッチする

## 2 希望の設定にタッチする



**FRONT SOURCE** フロントモニターと常に同じソース

**SEPARATE** フロントモニターとは別にお好みのソースの映像

### メモ

- 「FRONT SOURCE」を選択した場合、音声ソース（ラジオやCDなど）を選択すると、リアモニターには何も表示されません。
- 「FRONT SOURCE」を選択すると、リアモニター出力から音声は出力されません。

## リアモニターを使うとき

リアモニターを接続すると、DVDやテレビの映像を後部座席でも楽しむことができます。



**警告**

### 運転中に見える場所に設置しない



リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

### メモ

- DVDビデオやビデオCDをリアモニターだけで見るときは、リモコンの操作モードをDVDモードに切り換えます。
- テレビをリアモニターだけで見るときは、リモコンの操作モードをTVモードに切り換えます。
- 【REAR ON】ボタンまたは **REAR.S** ボタンを押して、リアモニターに映像を表示した場合は、【ソース (SRC)】ボタンを長く (約1秒) 押ししても、リアモニターの表示を消すことはできません。リアモニターの映像が消えるまで、【REAR ON】ボタンまたは **REAR.S** ボタンを押し続けてください。

## ■ リアモニターの映像の切り換え

### 1 【REAR ON】ボタンまたは **REAR.S** ボタンを押す

ボタンを押すたびに、映像が以下のように切り換わります。

フロント映像 (F. SOURCE) → 内蔵プレーヤー (DVD) → テレビ (TV) → ビデオ (AV)

リアモニターの映像を消すには、【REAR ON】ボタンまたは **REAR.S** ボタンを長く (約1秒) 押しします。

### メモ

- 「REAR MODE」で「FRONT SOURCE」を選択すると、リアモニターの映像は「フロント映像 (F. SOURCE)」以外には切り換わりません。(→前項)
- リアモニターで映像を表示しているときは、【REAR ON】ボタンの文字色が赤く変わり、リアモニターが作動中であることを表示します。
- 本機にディスクがセットされていないときは、内蔵プレーヤー (DVD) には切り換わりません。
- 「AV INPUT」で「VIDEO」が選択されていないときは、ビデオ (AV) には切り換わりません。(→P101)
- フロント映像 (F.SOURCE) を選択して、音声ソースを選択すると、リアモニターには何も表示されません。
- フロントモニターとリアモニターの両方で内蔵プレーヤー (DVD) の映像を見ている場合、リアモニター出力から音声は出力されません。
- 「REAR MODE」で「FRONT SOURCE」を選択すると、リアモニター出力から音声は出力されません。

# DVDの機能設定

音声や字幕、視聴制限などの内蔵プレーヤーの設定を行います。

## DVDセットアップメニューを表示する

1 ソースを内蔵プレーヤー (DVD) に切り換える (→P20)

2 **□** にタッチする

**MENU** が **SETUP** に切り換わります。

3 **SETUP** にタッチする

DVDセットアップメニューが表示されます。



**言語設定** 文字や言語に関する設定メニュー

**映像設定** 映像に関する設定メニュー

**その他** 言語や映像以外の設定メニュー

### メモ

- **NEXT** にタッチすると、次ページの設定項目が表示されます。**PREV** にタッチすると、前ページの設定項目が表示されます。
- **ESC** にタッチするか、**(BD)ESC** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**(BACK)** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## 字幕言語を設定する

字幕として優先したい言語を設定します。

1 DVDセットアップメニューを表示する (→前項)

2 **言語設定**、**字幕言語** の順にタッチする

字幕の言語リストが表示されます。



**NEXT** にタッチすると、言語リストの2ページ目に切り換わります。言語リストの1ページ目に戻るには、**PREV** にタッチします。

3 希望の言語にタッチする

### メモ

- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

## ■「その他」を選択した場合

「その他」を選択すると、言語コード入力画面が表示されます。『言語コード表』（→P127）をご覧ください。言語コードを入力してください。

### 1 0～9にタッチして、言語コードを入力する



### 2 ENTERにタッチする

入力した言語コードの言語が設定されます。

#### メモ

- **C** (クリア) にタッチすると、入力した数字を消すことができます。

## 音声言語を設定する

音声として優先したい言語を設定します。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する（→P106）

### 2 言語設定、音声言語の順にタッチする

音声の言語リストが表示されます。



**NEXT** にタッチすると、言語リストの2ページ目に切り換わります。言語リストの1ページ目に戻るには、**PREV** にタッチします。

### 3 希望の言語にタッチする

#### メモ

- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が出力されます。
- 言語の選択で「その他」を選ぶと、言語コードの入力による言語の選択ができません。操作については、字幕言語と同様になります。『字幕言語を設定する』の『「その他」を選択した場合』（→前項）をご覧ください。

## メニュー言語を設定する

メニューとして表示される言語を設定します。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)

### 2 言語設定、メニュー言語の順にタッチする

メニューの言語リストが表示されます。



**NEXT** にタッチすると、言語リストの2ページ目に切り換わります。言語リストの1ページ目に戻るには、**PREV** にタッチします。

### 3 希望の言語にタッチする

#### メモ

- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- 言語の選択で「その他」を選ぶと、言語コードの入力による言語の選択ができます。操作については、字幕言語と同様になります。『字幕言語を設定する』の『「その他」を選択した場合』(→P107)をご覧ください。

## アシスト字幕の表示／非表示を設定する

アシスト字幕のON/OFFを設定します。

### アシスト字幕について

アシスト字幕とは、場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合にのみ表示できません。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)

### 2 言語設定、NEXT、アシスト字幕の順にタッチする

### 3 ON ▲ にタッチする



アシスト字幕の表示がONになります。アシスト字幕の表示をOFFにするには、**OFF ▼** にタッチします。

## マルチアングルマークの表示／非表示を設定する

マルチアングルで収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、マルチアングルマークを表示することができます。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)

### 2 映像設定、マルチアングルの順にタッチする

### 3 ON ▲ にタッチする



マルチアングルマークの表示がONになります。

マルチアングルマークの表示をOFFにするには、**OFF ▼** にタッチします。

## TVアスペクトを設定する

画面の表示比率を設定します。画面比率の違う別売のモニターなどを接続したときや、ディスクに収録された映像(画像)の比率に合わせて設定します。

### 1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)

### 2 映像設定、TVアスペクトの順にタッチする

### 3 希望の設定にタッチする



**16:9** ワイドモニター使用時の設定

**レターボックス** ノーマルモニター(4:3)使用時の設定(16:9で収録された映像(画像)は、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)になります。)

**パンスカン** ノーマルモニター(4:3)使用時の設定(16:9で収録された映像(画像)は、パンスカン(左右の切れた画面)になります。)

#### メモ

- ノーマルモニターをお使いのときは、「レターボックス」または「パンスカン」のどちらかに設定してください。「16:9」に設定すると、映像が不自然になることがあります。
- パンスカン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスカン」に設定しても「レターボックス」での再生となります。ディスクのパッケージなどで「16:9」マーク(→P121)を確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

## 視聴制限を設定する (パレンタルロック)

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない画面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

レベル	視聴制限の内容について
LEVEL 8	すべてのディスクを再生します
LEVEL 7~2	成人向けのディスクの再生を制限します（子供向けや一般向けのディスクを再生します）
LEVEL 1	子供向けディスクのみ再生します

### メモ

- 初めて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけ飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

## ■ 暗証番号とレベルの設定

1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)

2 **映像設定**、**視聴制限設定**の順にタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。

3 **0~9**にタッチして、4桁の暗証番号を入力する



- **C** (クリア) にタッチすると、入力した数字を消すことができます。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

4 **ENTER**にタッチする

暗証番号が設定され、レベル設定画面が表示されます。

5 **◀/▶**にタッチして、レベルを設定する



視聴制限レベルが設定されます。

## ■ レベルを変更する

**1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)**

**2 映像設定、視聴制限設定の順にタッチする**

暗証番号入力画面が表示されます。

**3 暗証番号を入力して、ENTERにタッチする**

レベル設定画面が表示されます。

**4 ◀/▶にタッチして、レベルを変更する**

変更した視聴制限レベルが設定されます。

### メモ

- 間違った暗証番号を入力すると、⊘ (禁止マーク) が表示されます。この場合、C (クリア) にタッチしてから、正しい暗証番号を入力し直してください。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、『暗証番号を忘れたときは』(下記) をご覧ください。

## 視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生が始まりません。

## 暗証番号を忘れたときは

『暗証番号とレベルの設定』の手順3で、C (クリア) に10回タッチします。登録した暗証番号が解除されるので、新しい暗証番号を入力します。

## ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、「ボーナスグループ」と呼ばれるグループを収録したディスクがあります。ボーナスグループを再生するには、4桁の暗証番号の入力が必要になります。暗証番号は、ディスクのパッケージなどで確認してください。

**1 DVDセットアップメニューを表示する (→P106)**

**2 その他、ボーナスグループの順にタッチする**

暗証番号入力画面が表示されます。



**3 0~9にタッチして、4桁の暗証番号を入力する**

- C (クリア) にタッチすると、入力した数字を消すことができます。

**4 ENTERにタッチする**

ボーナスグループの再生が可能になります。

### メモ

- ディスクを出し入れすると、再度暗証番号の入力が必要になります。

# その他の機能

## 瞬時に音量を小さくする(ATT)

車内の会話が聞き取りにくいときなどに、瞬時に音量を小さくできます。

### 1 【ATT】 ボタンを押す

アッテネーター機能が働き、音量が小さくなります。

情報プレートに、“ATT” が点滅します。アッテネーター機能を解除して、元の音量に戻すには、もう一度【ATT】 ボタンを押します。

## 交通情報を聞く (TI)

AM 1,620 kHzまたはAM 1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信できます。

この機能は、ソースがOFFでも、どのソースからでも操作できます。

### 1 【TI】 ボタンを押す

前回受信していた周波数の交通情報を受信します。

交通情報の受信を終了し、受信前の状態に戻るには、もう一度【TI】 ボタンを押します。

### 2 ◀/▶にタッチして、周波数を切り換える

▶ 1,629 kHz

◀ 1,620 kHz

#### メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。

## 画面背景を設定する

音楽などを聞いているときに、モニターの表示をいろいろなエンタテインメント表示に切り換えることができます。

### エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、いろいろな動画や静止画をモニターに表示する機能です。

### 1 【ENT】 ボタンまたは ENT ボタンを押す

ボタンを押すたびに、エンタテインメントの表示は以下のように切り換わります。

ソースの映像（映像ソースのみ）→  
バックグラウンドピクチャー→  
バックグラウンドビジュアル1→  
バックグラウンドビジュアル2→  
スペクトラムアナライザー→  
レベルインジケーター1→  
レベルインジケーター2→  
エンタテインメントクロック→  
内蔵プレーヤーの映像→  
テレビの映像→  
ビデオの映像

#### メモ

- 本機にディスクがセットされていないときは、内蔵プレーヤーの映像（DVD）には切り換わりません。（CDやMP3再生時に切り換えると、ブルーバックになります。）
- 『AV入力を設定する（AV INPUT）』（→P101）で「VIDEO」が選択されていないときは、ビデオの映像（AV）には切り換わりません。

## ワイド画面の拡大方法を切り換える

テレビ、ビデオCDおよびDVDなどの映像は、通常の映像をワイド映像に拡大できます。

- 通常映像は表示比率4：3、ワイド映像は表示比率16：9です。
- ワイドモードの設定内容は、映像ごとに記憶されます。
- ナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。

### 1 [WIDE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

フル (FULL) → ジャスト (JUST)  
→ シネマ (CINEMA) → ズーム (ZOOM) → ノーマル (NORMAL)

#### メモ

- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合、[WIDE] ボタンを長く（約2秒）押すたびに、ワイドモードが切り換わります。
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の表示比率が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は、映像ソース（テレビ、ビデオ、内蔵プレーヤーなど）でのみ可能です。

## ■ ワイドモードの種類

### フル (FULL)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面で楽しめます。



### ジャスト (JUST)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



### シネマ (CINEMA)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



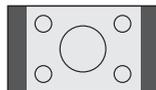
### ズーム (ZOOM)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかがって表示されるものに適しています。



### ノーマル (NORMAL)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



## 画質調整

明るさやコントラストなどを調節できます。

- DVDやテレビなどで別々に設定内容を記憶します。
- 明るさ (BRIGHT) とコントラスト (CONTRAST) は、外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき (☀) と、暗いとき (🌙) で調整内容を別々に記憶します。
- 走行中は、画質を調整できません。

### 1 [V.ADJ] ボタンを長く (約2秒) 押す

画質調整メニューが表示されます。

### 2 調整したい項目にタッチする



<b>BRIGHT</b>	明るさ
<b>CONTRAST</b>	コントラスト (明暗)
<b>COLOR</b>	色の濃さ
<b>HUE</b>	色合い (赤・緑)
<b>DIMMER</b>	明るさの自動調整

- **B.Camera** は、バックカメラの設定がONになっているときに、選択できます。(→P102)
- **B.Camera** にタッチすると、バックカメラの画質調整メニューに切り換わります。ソース画面の画質調整メニューに戻るには、**SOURCE** にタッチします。
- 接続したバックカメラによっては、画質調整ができないこともあります。

### 3 ◀/▶ にタッチして、設定を調整する

BRIGHT、CONTRAST、COLOR、HUEは、-24~+24の間で調節できます。

#### メモ

- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。
- 音楽ソースやナビゲーションの地図の場合、COLOR、HUEは調整できません。

## モニターのみぶしさを抑える

夜間運転中など、周囲が暗いときに、画面がまぶしく感じられることがあります。本機は、周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整します (3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを、お好みに合わせて、設定しておくことができます。

### 1 [V.ADJ] ボタンを長く (約2秒) 押す

画質調整メニューが表示されます。

### 2 DIMMER にタッチする

外光センサーが感知した周囲の明るさ (外光レベル) を以下のように表示します。

橙色の太陽 (☀) : 明るいとき (昼間)

赤い太陽 (☀) : 中間の明るさ (夕方)

黄色い月 (🌙) : 暗いとき (夜間)

### 3 ◀/▶ にタッチして、明るさを調整する

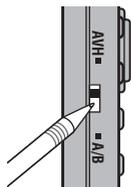
#### メモ

- 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、のそれぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

## リモコンコードの設定

付属のリモコンには、コードAVH、コードAおよびコードBの3種類のリモコンコードがあります。リモコンコードを正しく切り換えることで、本機に接続されたDVDプレーヤーを、付属のリモコンで操作できるようになります。本機を操作するときは、AVHIに設定してください。

### 1 リモコンの左側面にあるリモコンコード切り換えスイッチを、ペン先などで切り換える



### 2 コードA/Bに設定したときは、リモコンの数字ボタン⑦と⑩を同時に押す

数字ボタン⑦と⑩を同時に押すたびに、コードAとコードBが順に切り換わります。(初期設定はコードAです。)



### メモ

- リモコンの操作モード切り換えスイッチをDVDモードに切り換える(→P17)と、パイオニア製DVDプレーヤーを操作できます。
- マルチDVDプレーヤー(例:「XDVP9II」)を操作する場合は、コードAに切り換えてください。
- DVDプレーヤー(例:「SDV-P7」)を操作する場合は、DVDプレーヤーの初期設定メニューと、本機に付属のリモコンのコードは同じ設定にしてください。設定が異なっていると、操作できません。
- 本機に付属のリモコンには、ナビゲーションユニット(例:「AVIC-H990」)を操作するためのコードは用意されていません。ナビゲーションユニットは、本機のタッチキー、またはナビゲーションユニットに付属のリモコンで操作してください。

## 本機のリセット

本機を初期状態に戻すことができます。

### リセットボタンについて

エンジンスイッチOFFでリセットボタンを押すと、コンディションメモリーの内容を保持したまま、本機のマイコンを初期化できます。

次のようなときに、リセットボタンを押してください。

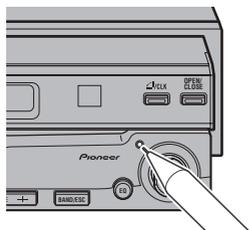
- 本機が正しく動作しないとき。
- モニターが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やテレビのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットし直してください。

### 1 エンジンスイッチをOFFにする

### 2 ペン先などでリセットボタンを押す

本機のマイコンが初期状態に戻ります。



### メモ

- パイオニア製ナビゲーションシステムと組み合わせた場合、必ずエンジンスイッチをOFFにしてから、リセットボタンを押してください。エンジンスイッチがONやACCの状態ではリセットボタンを押しても正しく動作しないおそれがあります。
- 接続が終わった後や、すべてのメモリー内容を消去し、本機を初期状態（ご購入直後の状態）に戻したいときなどは、エンジンスイッチをONまたはACCの状態ではリセットボタンを押します。（この場合、リセットボタンを押すと、約5秒後に自動的にモニターの立ち上げ／収納動作をします。動作に支障がないことを確かめてから、リセットボタンを押してください。）

## コンディションメモリー

ディスク再生中に設定した音声言語・字幕言語・アングル番号、テレビアスベクト設定をディスクごとに最大30枚まで記憶する機能です。特別な操作の必要はなく、ディスク再生中の最後の設定内容を記憶します。記憶されたディスクを再生すると、前回の設定内容で再生されます。

### メモ

- ディスクによっては、音声言語や字幕言語の設定が自動的にディスクで指定された内容になり、コンディションメモリーが無効になってしまう場合があります。
- 30枚を超えたときは、古い記憶から順に新しい記憶に入れ替わります。
- コンディションメモリーを全て消去するには、エンジンスイッチがONまたはACCの状態では本機のリセットボタンを押します。

## エクスターナルユニットの操作

本機は、iPodやマルチMDプレーヤーなどを、エクスターナルユニットとして操作できます。

### エクスターナルユニットとは

エクスターナルユニットとは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。

#### メモ

- 本機では、エクスターナルユニットを最大2台まで接続、コントロールができます。ただし、EXT1、EXT2のどちらに切り換えても“EXT”が表示されます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、EXT1、EXT2が自動的に設定されます。
- iPodの接続には、別売のiPodアダプター（CD-IB10）が必要です。
- iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer Inc.の商標です。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合、「AV INPUT」を「EXT-VIDEO」に設定する必要があります。（→P101）

## 基本操作

### 1 ソースをエクスターナルユニット（EXT1、EXT2）に切り換える（→P20）

### 2 画面にタッチする

タッチキーが表示されます。



## ■ FUNCTIONメニューの操作

### 1 **A.MENU** にタッチする

メインメニューが表示されます。

### 2 **FUNCTION** にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



### 3 **FUNCTION1** にタッチする

ファンクションモード1の設定内容が表示されます。

### 4 **▲▼** にタッチする

タッチするたびに設定が切り換わります。



#### メモ

- **ESC** にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタン、**[BAND/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- **BACK** にタッチするか、**[BACK]** ボタン、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 約30秒間操作をしなかった場合、自動的にソース画面に戻ります。

## 操作例

### ■ iPodアダプター「CD-IB10」の場合

カテゴリの選択	<b>BAND</b> にタッチする
リストの選択	<b>▲/▼</b> にタッチする
曲の頭出し	<b>◀/▶</b> にタッチする*1
曲の早戻し/早送り	<b>◀/▶</b> にタッチし続ける*1
一時停止	<b>FUNCTION1</b> で <b>▲▼</b> にタッチする
リピート再生の設定	<b>FUNCTION2</b> で <b>▲▼</b> にタッチする
ランダム再生の設定	<b>FUNCTION2</b> で <b>▲▼</b> に長く(約2秒) タッチする
表示切り換え	<b>FUNCTION3</b> で <b>▲▼</b> にタッチする
タイトルのスクロール	<b>FUNCTION3</b> で <b>▲▼</b> に長く(約2秒) タッチする
AUTO/MANUALの切り換え	<b>AUTO/MANUAL</b> で <b>◀/▶</b> にタッチ

\*1 **AUTO/MANUAL** で **AUTO** を選んでいる場合は、曲の頭出しになります。  
**MANUAL** を選んでいる場合は、曲の早戻し/早送りになります。

#### メモ

- **1** ~ **6** や **1-6 KEY**、**FUNCTION4** は、iPodの操作には使用しません。

### ■ マルチMDプレーヤー「MD-P100II」の場合

ディスク切り換え	<b>▲/▼</b> (または <b>BAND</b> ) にタッチする
ディスク番号選択	<b>1</b> ~ <b>6</b> (または <b>1-6 KEY</b> で <b>1KEY</b> ~ <b>6KEY</b> ) にタッチする
曲の頭出し	<b>◀/▶</b> にタッチする*1
曲の早戻し/早送り	<b>◀/▶</b> にタッチし続ける*1
表示の切り換え	<b>FUNCTION1</b> で <b>▲▼</b> にタッチする
タイトルのスクロール	<b>FUNCTION1</b> で <b>▲▼</b> に長く(約2秒) タッチする
ランダム再生の設定	<b>FUNCTION2</b> で <b>▲▼</b> に長く(約2秒) タッチする
スキャン再生の設定	<b>FUNCTION3</b> で <b>▲▼</b> にタッチする
リピート再生の設定	<b>FUNCTION4</b> で <b>▲▼</b> にタッチする
AUTO/MANUALの切り換え	<b>AUTO/MANUAL</b> で <b>◀/▶</b> にタッチ

\*1 **AUTO/MANUAL** で **AUTO** を選んでいる場合は、曲の頭出しになります。  
**MANUAL** を選んでいる場合は、曲の早戻し/早送りになります。

## ナビゲーションユニットを 接続する際のご注意

ナビゲーションユニット (AVIC-H990/ H900) 本体をトランクや荷室に設置する場合は、本機とナビゲーションユニットを最大約6mまで離して接続することができます。この場合、次のRGBケーブルを使用してください。

- 本機に付属の30ピンRGB中継ケーブル (15 cm)
- ナビゲーションユニットに付属の30ピンRGBケーブル (3m)
- 別売の30ピンRGB延長ケーブル「CD-RGB130E」(3m)

この接続の場合、RGB画面 (地図画面など) を最適な状態にするために画面設定を切り換えてください。

### ご注意

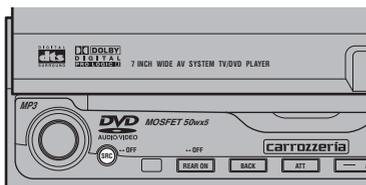
- 上記の接続時以外は、画面設定を切り換えないでください。

## ナビゲーションユニットの 画面設定を切り換える

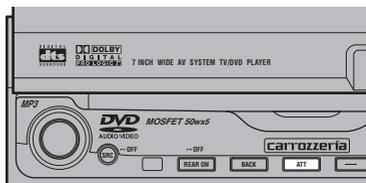
### 1 モニターを立ち上げる

エンジンスイッチをACCまたはONにすると、本機の電源がONになり、モニターが自動的に立ち上がります。自動的に立ち上がらない場合は、【OPEN/CLOSE】ボタンを押して、立ち上げてください。

### 2 【ソース (SRC)】 ボタンを長く (約1秒) 押して、ソースをOFFにする

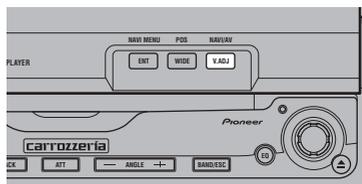


### 3 【ATT】 ボタンを長く (約2秒) 押して、デモをOFFにする

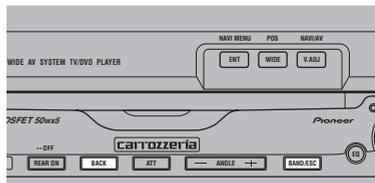


デモが解除されます。

### 4 【V.ADJ】 ボタンを押して、ナビゲーション画面に切り換える



### 5 【BACK】 ボタンと【BAND/ESC】 ボタンを同時に押して、画面設定を切り換える



ピッと高い音が鳴り、「6 m接続」に最適な画面設定になります。もう一度押すと、ピッと低い音が鳴り、通常画面設定に戻ります。

### 6 ナビゲーション画面に乱れがなく、適切に表示されていることを確認する

## 再生できるディスクの種類

- 下記マークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- **DVD** はDVDフォーマットロゴライセンスング（株）の商標です。

### DVDオーディオ



### DVDビデオ



### ビデオCD



### CD



## ディスクの操作について

DVDIによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止している場合があります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

### 禁止マーク



**メモ**

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能をご使用になれない場合があります。
- DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号(→P129)が異なるディスクは再生できません。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたものに限り、再生できます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ(CD-DA)再生時)
- ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクには対応しておりません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RW、DVD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

**DVDに表示されているマークの意味**

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類を表します。
 	再生可能な地域番号(リージョン番号)を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

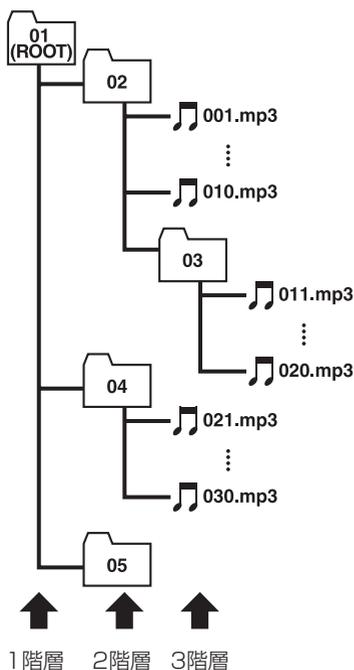
**著作権について**

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

## MP3について

### フォルダーとMP3ファイルについて

- MP3ファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機は、MP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(→P130)
- 本機はマルチセッション (→P129) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト (→P128) には対応していません。

- m3u (→P130) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3) を含めて32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字までです。
- 拡張フォーマット (Joliet, Romeo) (→P130) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがないCDを、MP3ファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

#### メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、MP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。MP3ファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- MP3ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせずスキップします。)
- 8階層までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

## MP3とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(→P130)

## 再生できるMP3ファイルについて

### ご注意

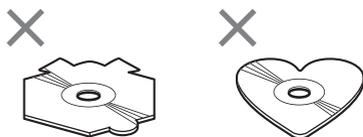
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けしないでください。

- ID3 Tag (→P129) のVer 1.0およびVer 1.1のアルバム名(Album Title)、曲名(Track Title)、アーティスト名(Artist Name)の表示に対応しています。ID3 TagのVer 2には対応していません。ID3 TagをVer 2でしか書き込めないライティングソフトで作成したMP3ファイルでは、アルバム名や曲名などが正しく表示されないことがあります。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しています。(なお、再生可能なサンプリング周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート(→P128)が高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps~320 kbpsのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

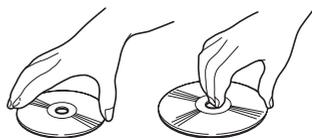
## 使用上の注意

### 取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



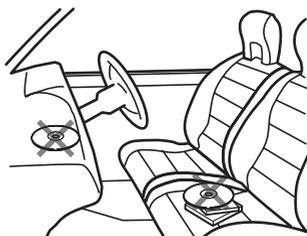
- ディスクは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。

### 保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

## ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起すことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

### メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に、実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## モニターの正しい使いかた

### 取り扱い上のご注意

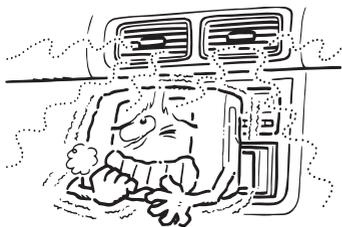
- 温度が-10度以下または+50度以上になるところでは、お使いにならないでください。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障するおそれがあります。できる限りモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用していないときは、本体にモニターを収納してください。



- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- モニターを立ち上げたときに、モニターの上に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち上げ、収納を手動で行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。



- モニターを立ち上げたときに、モニターがエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障するおそれがあります。



- モニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、モニターが動かなくなることがあります。モニターが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度【OPEN/CLOSE】ボタンを押してください。



- エアバックなどの安全装置装着車の場合、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

## 液晶画面について

- モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）がでることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

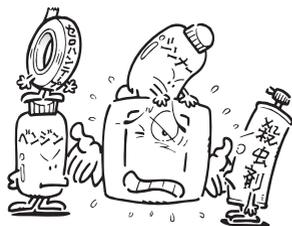
## 小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

## お手入れについて

- 画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、付属の布で拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



## 言語コード表

DVDセットアップメニューで、言語を設定するのに使用します。(→P106)

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入カコード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
リオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
ハンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入カコード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストウ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジク語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チギリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

\* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

## 用語解説

### アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっていきます。

### 視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

### 静止画

DVDには、音声や動画だけでなく、静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には、以下の2種類があります。

#### スライドショー

ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。

#### ブラウザブル静止画

お好みの静止画を選択して表示できます。

### ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

### ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

### ドルビープロロジックII

ドルビープロロジックIIは、2チャンネル信号を5.1チャンネルに拡張できます。CDのような通常のステレオ音楽でも立体音場効果、包囲感、より明確な定位感を実現します。

### パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

### ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

### プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

### ボーナスグループ

DVDオーディオには、4桁の暗証番号を入力することで再生できる「ボーナスグループ」というグループが収録されている場合があります。

## マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくるとなれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

## マルチ音声

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDでは、音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中から好みの言語を選ぶことができます。

## マルチ字幕（サブタイトル）

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記録でき、その中から好みの言語を選ぶことができます。

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。（本体底面に表記されています。）

## リニアPCM（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

## DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

### レベル1

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字）で、各フォルダーの階層は8つ以下

### レベル2

ファイル名は、最大31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は8つ以下

### 拡張フォーマット

#### Joliet

ファイル名は、最大で64文字

#### Romeo

ファイル名は、最大で128文字

## m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

## MP3（エムピースリー）

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

## MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

## PPCM（Packed PCM）

DVDオーディオに用いられている信号方式で、ロスレス圧縮により、信号データを損うことなく収録効率を向上させています。

## VBR（ブイビーアール）

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## 故障かな？と思ったら

### 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



### チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。(→P116)



### それでも直らないときは

『保証書とアフターサービス』(→P139)をお読みになり、修理を依頼してください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(→『取付説明書』)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。(→『取付説明書』)
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(→P116)
リモコンで操作できない。 操作にあった正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。(→P17)
	リモコンコードが異なっている。	リモコンコード切り換えスイッチを正しく切り換えてください。(→P115)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。(→P16)
ディスクを再生できない	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。(→P124)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。

## 共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (→P29)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (→P112)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (→P88)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (→『取付説明書』)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (→P88)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (→P88)
音が出ないスピーカーがある。	スピーカーサイズの設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (→P91)
	スピーカーのレベル設定が極端に小さくなっている。	他のスピーカーのレベルとバランスをとってください。 (→P93)
	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズを「SMALL」や「LARGE」にしている。	センタースピーカーのサイズ設定を「OFF」にしてください。 (→P91)
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 (→『取付説明書』)
	パーキングブレーキをかけていない。	
 (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの  ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。

## 共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。
何も表示されない。	バックカメラが接続されていない。	バックカメラを接続してください。 (→『取付説明書』)
	バックカメラの設定が間違っている。	正しく設定してください。 (→P102)
電源をOFFにしても映像が出ている	デモがONになっている。	デモを解除してください。 (→P23)

## 内蔵プレーヤー：DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	NTSC方式のディスクに交換してください。 本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 (→P110)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。 暗証番号を忘れてしまった。	正しい暗証番号を入力してください。 (→P110) クリア (C) ボタンを10回押し、暗証番号を解除してください。 (→P110)
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。 (→P106、P107)
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。 ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。 ディスクのメニューで切り換えてください。 (→P106)
DVDセットアップメニューで選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えるできません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。 映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。
後ろのスピーカーから音が出ない。	96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクを再生している。	96 kHzを超えるサンプリング周波数で記録されたDVDオーディオディスクの音声は、フロントスピーカーだけから出力されます。

## 内蔵プレーヤー：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。 PBCをOFFにしている。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。 PBCをONにしてください。 (→P69)
リピート再生、トラック／タイムサーチができない。	PBCがONになっている。	PBCをOFFにしてください。 (→P69)

## 内蔵プレーヤー：CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。CDが自動的に出てくる。	CDが極端に汚れている。 CDに曇りや水滴がついている。	CDの汚れをふき取ってください。 (→P124) CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (→P124)

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。	周波数を正しく合わせてください。 (→P45) 他の放送局を選局してみてください。 (→P45)
自動選局できない。	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 強い電波の放送局がない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。 手動で選局してください。 (→P46)

## テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 (→P57)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 (→P57)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 (→P58)

## こんなメッセージが表示されたら

### 内蔵プレーヤーのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
"ERROR-02"	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。 (→P124)
	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。 (→P26)
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
"ERROR-05"	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	リセットボタンを押してください。 (→P116)
"THERMAL PROTECTION IN MOTION (TEMP)"	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
"DIFFERENT REGION DISC (REGION ERR)"	リージョン番号が異なるディスクを挿入したとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
"NON-PLAYABLE DISC (NON-PLAY)"	本機では再生できないディスクを使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。 (→P120)

#### メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

## オートイコライジングのエラー表示

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処置
“マイクを確認下さい”	音響特性測定用マイクが接続されていない。	付属の音響特性測定用マイクをきちんと差し込んでください。 (→P97)
“フロントレフトスピーカーを確認下さい” “フロントライトスピーカーを確認下さい” “フロントスピーカーを確認下さい” “センタースピーカーを確認下さい” “サブウーファーを確認下さい” “リアレフトスピーカーを確認下さい” “リアライトスピーカーを確認下さい”	スピーカーの計測音が音響特性測定用マイクで拾えない。	本機の電源を入れて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。 (→『取付説明書』) 付属の音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。
“騒音が大きすぎます”	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 付属の音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 仕様

### 共通部

使用電源：  
DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)

アース方式：  
マイナスアース方式

最大消費電流：  
本体：10.0 A  
ハイダウェイ部：7.5 A

外形寸法：  
(本体取付寸法)：  
178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm  
(本体ノーズ寸法)：  
170 (W) × 46 (H) × 31 (D) mm  
(ハイダウェイ部寸法)：  
280 (W) × 28 (H) × 171 (D) mm

質量：  
本体：2.3 kg (コードユニット含まず)  
ハイダウェイ部：1.1 kg (コードユニット含まず)

### オーディオ/DSP部

最大出力：  
50W × 5

定格出力：  
22W × 5  
(50~15,000 Hz、5% THD)

負荷インピーダンス：  
4 Ω (4~8 Ω 使用可能)

プリアウト：  
最大出力レベル：  
5.0 V  
出カインピーダンス：  
100 Ω

デコーダー：  
リニアPCM/ドルビーデジタル/  
ドルビープロロジックII/DTS

サブウーファー：  
クロスオーバー周波数：  
63/80/100/125/160/  
200 Hz  
レベル：  
±10 dB

### スピーカー設定：

タイムアライメント：  
0.00~5.00 m (2.5 cm)

調整幅：  
±10 dB

イコライザー：  
バンド：3バンド  
周波数：40/50/63/80/  
100/125/160/  
200/250/315/  
400/500/630/  
800/1k/1.25k/  
1.6k/2k/2.5k/  
3.15k/4k/5k/6.3k/  
8k/10k/12.5k Hz

ゲイン：±12 dB  
Qファクター：1.2/3.6

クロスオーバー周波数：  
63/80/100/125/160/  
200 Hz

### モニター部

画面サイズ：  
7.0 インチワイドモニター

アスペクト比：  
16:9

有効表示面積：  
154 × 87 mm

有効画素数：  
336,960 画素 (1,440 × 234)

方式：  
TFTアクティブマトリクス方式

使用温度範囲：  
-10 ~ +50 °C

保存温度範囲：  
-20 ~ +80 °C

スライド角度調整範囲：  
50° ~ 110° (初期設定角度：110°)

**DVDプレーヤー部****形式：**

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオ  
CD、CD、dts CDおよびMP3システム

**リージョン番号：**

2

**使用ディスク：**

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオ  
CD、CDおよびdts CD

**信号フォーマット：**

サンプリング周波数：

16/22.05/24/44.1/48/  
88.2/96/176.4/192 kHz

量子化ビット数：

16/20/24ビット直線

**周波数特性：**

5~96,000 Hz (DVD、サンプリング周  
波数192 kHz時)

**S/N比：**

97 dB (IHF-A ネットワーク)  
96 dB (IHF-A ネットワーク)：CD

**ダイナミックレンジ：**

95 dB (1 kHz)  
94 dB (1 kHz)：CD

**高調波歪率：**

0.008 % (1 kHz)

**出力レベル：**

映像  
1 Vp-p/75 Ω

音声

1.1 V (1 kHz、0 dB)

**チャンネル数：**

2 (ステレオ)、デジタル 6 ch

**MP3デコーディングフォーマット：**

MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

**FMチューナー部****受信周波数帯域：**

76.1~89.9 MHz

**実用感度：**

8 dBf (0.7 μV/75 Ω、  
モノラル、S/N：30 dB)

**S/N 50 dB感度：**

10 dBf (0.9 μV/75 Ω、モノラル)

**S/N：**

75 dB (IHF-A ネットワーク)

**高調波歪率：**

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)  
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

**周波数特性：**

30~15,000 Hz (±3 dB)

**ステレオセパレーション：**

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

**AMチューナー部****受信周波数帯域：**

522~1,629 kHz (9 kHz)

**実用感度：**

18 μV (S/N：20 dB)

**S/N：**

65 dB (IHF-Aネットワーク)

**TVチューナー部****受信チャンネル：**

VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch

**映像信号方式：**

NTSC

**実用感度：**

6 dBμ (75 Ω、モノラル音声)

**映像 S/N：**

40 dB以上 (59 dBμ入力、白100 %)

**映像雑音制限感度：**

40 dBμ

**アンテナ入力：**

4 chダイバシティ (φ3.5ミニプラグ)

**アンテナケーブル長：**

左：4.0 m  
右：5.5 m

**付属品**

リモコン	：1
リチウム電池 (CR2025)	：1
コードユニット	：1式
取付ネジ類	：1式
音響特性測定用マイク	：1
ダイバシティフィルムアンテナ	：1式
取扱説明書	：1
取付説明書	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1

**メモ**

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

## 索引

### あ

アシスト字幕 .....	108
アスペクト比 .....	128
頭出し	
CD .....	48
DVD .....	61
DVDプレーヤー .....	82
MP3 .....	53
エクスターナルユニット .....	118
ビデオCD .....	70
マルチCD .....	74
アッテネーター .....	112
イコライザー .....	86
一時可倒 .....	25
一時停止	
CD .....	48
DVD .....	61
DVDプレーヤー .....	84
MP3 .....	53
エクスターナルユニット .....	118
ビデオCD .....	69
マルチCD .....	75
エラー表示 .....	137、138
エンタテインメント .....	112
オートイコライザー .....	87
オートイコライジング& タイムアライメント .....	95、96
音声言語 .....	63、107
音量バランス .....	88

### か

外部機器 .....	98
角度調節 .....	24
画質調整 .....	114
基本設定メニュー .....	28、101
グループサーチ .....	64
クロスオーバー周波数 .....	92
言語コード表 .....	127
交通情報 .....	112
コマ送り再生	
DVD .....	61
ビデオCD .....	70
コンディションメモリー .....	116

### さ

視聴制限 .....	110、128
自動開閉 .....	103
字幕言語 .....	63、106
情報プレート .....	19
初期設定メニュー .....	28、98
スキャン再生	
CD .....	50
DVDオーディオ .....	66
DVDプレーヤー .....	84
MP3 .....	55
エクスターナルユニット .....	118
マルチCD .....	76
スピーカー出力レベル .....	93
スピーカー設定 .....	91
スロー再生	
DVD .....	61
ビデオCD .....	70
静止画 .....	62、128
セットバック .....	103
ソースレベルアジャスター .....	89

**た**

タイトルサーチ .....	64
タイトル入力	
CD .....	50
DVDプレーヤー .....	84
マルチCD .....	77
ダイナミックレンジ	
コントロール .....	67、128
タイムアライメント .....	94
タイムサーチ	
DVDビデオ .....	64
ビデオCD .....	70
ダイレクトサーチ	
DVD .....	64
ビデオCD .....	69
チャプターサーチ .....	64
停止	
CD .....	48
DVD .....	60
MP3 .....	53
ビデオCD .....	69
ディスクの自動再生 .....	100
デジタルアッテネーター .....	99
テストトーン .....	93
デモモード .....	23
時計 .....	103
トラックサーチ	
DVDオーディオ .....	64
ビデオCD .....	70
ドルビーデジタル .....	10、128
ドルビープロロジックII .....	89、128

**は**

パケットライト .....	128
バックカメラ .....	102
早戻し/早送り	
CD .....	48
DVD .....	61
DVDプレーヤー .....	82
MP3 .....	53
エクスターナルユニット .....	118
ビデオCD .....	70
マルチCD .....	74
パラメトリックイコライザー .....	86
パレンタルロック .....	110、128
バンド	
テレビ .....	57
ラジオ .....	45
ビットレート .....	128
プリセットチャンネル	
テレビ .....	57、58
ラジオ .....	45、46
プレイバックコントロール .....	69、128
ボーナズグループ .....	111、128

**ま**

マニュアル選局	
テレビ .....	58
ラジオ .....	46
マルチアングル .....	63、109、129
マルチ音声 .....	129
マルチ字幕 .....	129
マルチセッション .....	129
ミュート/アッテネート .....	99
メニュー言語 .....	108

ら

ランダム再生	
CD	49
DVDオーディオ	66
DVDプレーヤー	83
MP3	55
エクスターナルユニット	118
マルチCD	75
リージョン番号	121、129
リスニングポジション	88
リセット	116
リニアPCM	129
リピート再生	
CD	49
DVD	65
DVDプレーヤー	83
MP3	54
エクスターナルユニット	118
ビデオCD	72
マルチCD	75
リモコンコード	115
リモコンの操作モード	17

わ

ワイド画面	113
ワイドモード	113

アルファベット・数字

2カ国語放送	59
AUDIOメニュー	28、44、85
AUDIO RESET	100
Auto EQ&TA	95、96
AVHモード	17
AV入力	101
BSM	47
BSSM	59
CD TEXT	11、50、51、77、78
COMPRESSION	76
D.R.C	67
DSP	44、85
DSPメニュー	44
DTS	10、129
DVDセットアップメニュー	106
DVDモード	17
FUNCTIONメニュー	
CD	49
DVD	65
DVDプレーヤー	82
MP3	54
エクスターナルユニット	117
テレビ	58
ビデオCD	72
マルチCD	74
ラジオ	46
ID3 Tag	129
ISO9660フォーマット	130
ITS再生	79、84
ITSリスト	79、80
m3u	130
MP3	11、122、130
MPEG	130
PBC	69、128
PPCM	130
TVアスペクト	109
TVモード	17
VBR	130



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

### 商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

#### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

☎ **0070-800-8181-11**

☎ 【一般電話】 **03-5496-8016**

●ファックス受付 ☎ **03-3490-5718**

### 部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

#### 部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81095**

☎ 【一般電話】 **0538-43-1161**

☎ **0120-5-81096**

### 修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

#### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81028**

☎ 【一般電話】 **03-5496-2023**

☎ **0120-5-81029**

#### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

☎ 【一般電話】 **098-879-1910**

☎ **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2005

< KMMZF > < 05D00000 > < CRA3749-A >